

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

2021年度

自己点検・自己評価報告書

2022年5月18日

東北文化学園専門学校

目 次

本報告書について.....	1	3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	2 4
1 学校の理念、教育目標	3	3-12 教員・教員組織.....	2 5
2 本年度の重点目標と達成計画	4	基準4 学修成果.....	2 7
3 評価項目別取組状況.....	6	4-13 就職率	2 8
基準1 教育理念・目的・育成人材像	7	4-14 資格・免許の取得率	2 9
1-1 理念・目的・育成人材像.....	8	4-15 卒業生の社会的評価	3 0
基準2 学校運営.....	1 0	基準5 学生支援.....	3 1
2-2 運営方針.....	1 1	5-16 就職等進路.....	3 2
2-3 事業計画.....	1 2	5-17 中途退学への対応.....	3 3
2-4 運営組織.....	1 3	5-18 学生相談	3 4
2-5 人事・給与制度.....	1 5	5-19 学生生活	3 6
2-6 意思決定システム	1 6	5-20 保護者との連携.....	3 8
2-7 情報システム	1 7	5-21 卒業生・社会人.....	3 9
基準3 教育活動.....	1 8	基準6 教育環境.....	4 1
3-8 目標の設定	1 9	6-22 施設・設備等	4 2
3-9 教育方法・評価等	2 0	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	4 4
3-10 成績評価・単位認定等.....	2 3	6-24 防災・安全管理.....	4 6
		基準7 学生の募集と受入れ.....	4 8
		7-25 学生募集活動	4 9
		7-26 入学選考	5 1
		7-27 学納金	5 3

基準 8 財 務	5 4
8-28 財務基盤.....	5 5
8-29 予算・収支計画.....	5 7
8-30 監査.....	5 8
8-31 財務情報の公開.....	5 9
基準 9 法令等の遵守	6 0
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	6 1
9-33 個人情報保護.....	6 2
9-34 学校評価.....	6 3
9-35 教育情報の公開.....	6 5
基準 10 社会貢献・地域貢献	6 6
10-36 社会貢献・地域貢献.....	6 7
10-37 ボランティア活動.....	6 9

本報告書について

- 1 本報告書は、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）及び特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が、ガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を参考に構成しました。
- 2 「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」を加え、ガイドラインに示されている PDCA を活用した自己評価を行いました。
- 3 本報告書では、「評価項目別取組状況」の小項目毎に評定欄を加えました。評語の考え方は、以下のとおりです。

※評語の意味

- 4 適切に対応している。積極的に課題を発見し、今後更に向上させる。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みを行う。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切であり、方針から見直す必要がある。

4 本校では、2013 年度より教職員が本校の理念、目標に照らして自らの教育活動を点検・評価し、改善することによって、職業教育の質の保証・向上に組織的に取組ました。更に 2014 年度以降、毎年自己点検・自己評価を行い、平成 27 年 2 月に文部科学省「職業実践専門課程」の認定を受け、職業教育の充実を図ってまいりました。

2018 年からは「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を用い、より細密な評価を行うとともに早期に完成させています。

1. 対象期間

2021年4月1日～2022年3月31日

2. 実施方法

(1) 学内に「自己点検及び自己評価運営委員会」を設置し、委員会を中心に実施しております。

「自己点検及び自己評価運営委員会」

委員長 佐藤直由校長

副委員長 熊谷猛教頭

委員 二本柳淳子医療技術学科長兼キャリア対策委員会主事

渡辺英隆総合福祉学科学科長

宇川雅晴医療ビジネス学科長

増田学身建築デザイン学科長

津田真彦教務委員会主事

阿部秀樹学生委員会主事

長澤智広企画広報委員会主事

馬場健二専門学校事務部副部長

(早坂直人：2022年度よりキャリア対策委員会主事)

(2) 自己評価の評価項目は「専門学校等評価基準書 Ver4.0」に準拠しています。

(3) 点検・評価結果は、運営委員会で討議し取り纏めました。

(4) 評価結果の状況及び課題と改善策については、公開を予定しております。

1 学校の理念、教育目標

教育 理 念	教 育 目 標
<p>本校は、1978年、学校教育法に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、工業、医療、教育・社会福祉、商業実務分野に関する専門的な知識と技能を修得させるとともに、豊かな人間性を培い、社会の発展のために役立つ有為な人材の育成を目的として設立。</p> <p>教育理念・教育目標を明確に定め、今年創立43周年を迎えた。</p> <p>本校の教育理念は、ますます多様化する現代社会において、まさに時代の要請に応えられるものである。</p> <p style="text-align: center;">【教育 理 念】</p> <p>本校は、常に時代の趨勢に即応し、実践力になり得る技術の修得と知識の涵養を図り、豊かな人間性を備え、社会に奉仕できる人材を育成することを目的とする。</p>	<p>教育理念を具現化するために3つの教育目標を掲げ実学教育を行っている。</p> <p style="text-align: center;">【教育 目 標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性を持つこと 健やかな身体と精神を養い、教養と人格の向上に努め、礼儀正しく思いやりのある人間を目指す。 2. 創造性に富んだスペシャリストになること 確実な基礎学力のうえに高い専門技術を修得し、自ら道を切り拓く知恵と勇気を持ったスペシャリストを目指す。 3. 国際性豊かな社会人になること わが国の伝統と文化を尊重し地域社会に貢献するとともに、他国の文化を理解し、国際社会の平和と発展に寄与する広い視野を持った社会人を目指す。 <p>※教育目標の3. 国際性豊かな社会人になること の「他国の文化を理解し、国際社会の平和と発展に寄与する広い視野を持った社会人を目指す」という表現について、より現実的な方向性を示すため、見直しを含め教務委員会を軸に検討したが、今後ますます国際化のキーワードが重要になるため、教育目標はこのまま継承することとした。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	熊谷 猛
--------	------------	-------	------

2 本年度の重点目標と達成計画

2021 年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」にあたって</p> <p>学校法人 東北文化学園大学は、医療と福祉に貢献する医療人、豊かな人間性を兼ね備えた産業人、高度な企画力とリーダーシップを併せ持つ社会人の育成を目指し運営している。</p> <p>「輝ける者」は学校が求める理想の人間像である。</p> <p>学校は学生を、単なる技術者としてではなく、「輝ける者」として社会に送り出すため、その過程を全力で支援している。更にその支援を強化し、充実することを目的として、2019年度から2021年度までの3年間を計画年度として東北文化学園専門学校の中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」を下記の通り策定し、今年度が最終年度となる。</p> <p>(1) 組織ガバナンスの強化</p> <p>①学校における組織体制の再構築</p> <p>(2) 財政基盤の強化と整備</p> <p>①財政基盤の安定化に向けた施策</p> <p>(3) 戦略的広報の展開と学生募集活動の強化</p> <p>①入学生確保に向けた戦略的募集活動</p> <p>②学園のブランド力向上のための広報活動</p> <p>(4) 学校における将来構想と改革</p> <p>①教育改革と社会人教育への取組み</p> <p>(5) 教育研究の充実と質保証・学習成果の可視化</p> <p>①教育の充実</p> <p>(6) 学生生活支援・キャリア形成支援</p> <p>①学生生活安定のための支援</p> <p>②課外活動活性化の支援</p> <p>③キャリア形成支援</p> <p>(7) 地域連携・社会貢献の推進</p> <p>①地域連携・社会貢献</p> <p>②教育研究資源の提供</p> <p>(8) 学習環境の整備</p> <p>①基本環境・教育環境の整備</p> <p>②学習環境・学生支援環境の整備</p>	<p>1) —①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校の運営や意思決定に関わる組織体制の在り方を検討し、各教職員組織及び事務組織に至るまでのガバナンス・協調体制を強化する。 ・各種委員会組織の役割と権限を整理し、適正な再構築を行う。 ・教職協働体制の確立を目指す。 <p>(2) —①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園全体の協調の下、財政基盤としての入学者確保に努め、収入増を図る。 ・各種補助金等の外部資金の獲得に努める。 <p>(3) —①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ内容の充実を図る。 ・広報関連データ分析に基づく更なる方策を立案する。 ・入学者確保のために進学希望学生との接触を図る。 ・学生募集力を強化する方策を検討し、各科が主体性をもって活動する。 <p>—②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園の開設40周年記念事業を実施する。 <p>(4) —①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育改革による教育内容の特色づくりに取り組む。 ・入学定員未充足学科については、適正な規模を再検討するとともに、社会人教育への取組みを検討する。 <p>(5) —①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業実践専門課程の充実強化を図る。 ・自己点検・自己評価や情報公開を活かし他教育の質保証に取り組む <p>(6) —①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の健康管理、学生相談及び特別支援に関する体制を確立し、学科専攻科、教務及び就職等の関連組織間の連携を強化する。 ・すべての経済的支援に関して、学生・保護者に十分な情報提供を行う。 <p>—②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課外活動に対する支援方針を明確化する。 <p>—③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職先となる各医療機関・企業等との連携強化を図り、その要望を把握する。 ・特別支援の必要な学生のキャリア支援形成についてもここに進路支援を行う。 ・同窓会との協力関係を強化し、卒業生の動向把握を行う。

※今年度の新型コロナウイルス感染予防対策

- ①入構については、校内3か所の出入り口を学校正面入り口1か所に限定し、サーモカメラ2台による検温と手指消毒を教員指導の下で実施。
- ②サーモカメラを1階・2階それぞれの教員室入り口に設置し、二重の検温チェックを実施。
- ③授業等教室使用においては、学生間のソーシャルディスタンスを十分確保し、収容人数が多い時にはCO2センサーを確認しながら強制換気を実施。
等、対策を強化した。

学外実習は、感染状況の拡大を鑑み学内実習に切り替え実施している。学生の実習到達目標を、学内実習でも十分達成できるよう、各科実習プログラムを大幅に変更し対応している。

尚、授業体制はいつでも遠隔授業に切り替えができるよう準備を整え対面授業を継続実施している。

今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染の収束が見通せないため、全体式典は行わず、ホームルーム単位で実施している。

卒業証書授与式については、前日深夜に福島県沖の最大震度6強の地震が発生したため、学生の安全を第一に中止している。

※本校の新型コロナウイルス感染状況

2021年度は学生6名と職員1名の新型コロナウイルス感染事例があった。いずれも学外を起因とする濃厚接触者として、夏季や年度末の休業中、定期試験後の日程調整日、休暇取得中に感染している。1名の学生については、夏季休業期間中に数名のクラス友人との接触を確認したが、感染拡大に至ることは無かった。

本校では、陽性者の報告を受けた場合、速やかにその事実を保健所に報告し、然るべき対策を講ずるとともに、ホームページ上に公開している。

(7) —①

- ・学生のボランティア活動や国際交流活動を奨励し、それらの活動を支援する制度を構築する。
- ②
- ・学園の教育研究資源を出前授業等に積極的に提供し、高等学校等のキャリア教育を支援する。

(8) —①

- ・教室の改装・環境改善
- ②
- ・ラーニングスペース・展示スペースの設置
- ・学生食堂の環境改善

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	熊谷 猛
--------	------------	-------	------

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の基本方針は、業界や卒業生との強力なネットワークを生かし、最新の現場、知見、技術をスピーディーにカリキュラムに反映する「アップデート教育」と「未来を見据え、学びのニーズに応える学校づくり」に向けた</p> <p>○常に最新の知見を授業に取り入れる教育力 ○関連科の連携を推進する学科カリキュラムの編成 ○実社会に対応するキャリアパスの構築 ○職業実践力の育成：実践力から実戦力への4点を2021年度も継続している。</p> <p>2021年度は下記の通り4学科7科、2専攻科体制としている。</p> <p>建築デザイン学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築土木科（2年） ・インテリア科（2年） ・建築士専攻科（1年） <p>医療ビジネス学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書科（2年） ・医療情報管理科（2年） ・診療情報管理士専攻科（1年） <p>総合福祉学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉科（2年） ・社会福祉科（2年） <p>医療技術学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視能訓練士科（3年） 	<p>○常に最新の知見を授業に取り入れる教育力 専門学校の特性を鑑みた教育力の向上には、教員の情熱が必要不可欠であり、常に最新の業界情報を入手・活用し、授業に取り入れる教育力が求められる。</p> <p>また、公開授業を今後も継続して実施し、授業改善を推進し教育力向上を図る。</p> <p>教員採用については、次年度計画として、現場経験があり、かつ専門学校教育歴のある教員2名の採用を予定している。</p> <p>○関連科の連携を推進する学科カリキュラムの編成 学科内の各科において、教育課程編成委員の意見や業界との連携において、それぞれの専門知識を共有し、刺激しあう環境づくりを行い、幅広い知識と社会の要望に応える応用力、主体的に考える力を育成する。</p> <p>○実社会に対応するキャリアパスの構築 技術者の育成は、資格取得を通過点に、教員が直接「技」を伝え、学ばせることが重要である。</p> <p>知識・技術に加えマインド教育ができる少人数定員の環境づくり、細やかなサポートを実現する担任制クラス運営により、学生自ら未来へのキャリアパスを描けるスキルを養成する。</p> <p>○職業実践力の育成 実践的な職業教育を目指し、教育課程編成委員会の意見を取り入れ、業界ニーズを反映させたカリキュラムを作成。職業実践力を育成し実戦力を養う。</p>	<p>本校は、仙台駅からJR仙山線で15分の国見駅前(徒歩30秒)に位置し、同一敷地内に姉妹大学を有する非常に恵まれた教育環境にある。</p> <p>図書館、体育館、教育支援センター、キャリアサポートセンター(就職センター)を共有し、かつ教員の相互乗り入れを行う他、サークル活動やボランティア活動も大学と連携しており、専門学校としての教育環境は全国的にも秀でている。</p> <p>本校の卒業生は27,000名を超え、東北地域を主に、関東、北海道で活躍しており、高い評価を得ている。</p> <p>本校を運営する学校法人は「友愛幼稚園(宮城県仙台市)」、「久慈幼稚園(岩手県久慈市)」も運営しており、視能訓練士科では、こども理解のための保育実習、園児の視力測定補助等を通して系列幼稚園と交流を図っている。</p> <p>2021年度生以降の本校受験者を対象に、学納金、支援制度、入試制度の大幅な改定を行い、学納金については各科で異なっていた入学金を統一し、支援制度は学校生活のモチベーション維持を目的に、第1期入試受験者対象の「輝けるもの未来賞」と進級生対象の「輝けるもの奨励賞」を新設した。</p> <p>更に入試制度は従前の書類のみの審査選考を廃止し、AO入試や指定校推薦、一般入試等すべてに面接審査を導入、筆記試験や高校調査書等書類を含めて受験者の評価を点数化し、可否判定の可視化を図っている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	熊谷 猛
--------	------------	-------	------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程（学科）を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	4	<p>本校の教育理念に基づき、目的・育成人材像を定め、工業、医療、教育・社会福祉、商業実務分野のスペシャリストを養成するため4学科7科2専攻科を設置している。</p> <p>理念等は学生便覧に明確に示すとともに、オリエンテーションやホームルームで、保護者に対しは学校便り（「くにも通信」）、ホームページにおいて周知している。</p> <p>また、本校全体の目的・育成人材像を踏まえ、各科で「前年度の総括」、「次年度の運営方針」を掲げ、教職員情報共有のもと運営を行っている。</p> <p>業界の有識者で構成される外部委員の意見に基づき教育課程の見直しを継続的に行っている。</p>	<p>本校の教育理念・目的・育成人材像について、更に保護者への周知を徹底するための保護者懇談会の実施を検討しているが、コロナ禍の影響を受けて今年度も開催には至っていない。</p> <p>また、大学・専門学校のトピックを記載した「季報」を発行しており、宮城県内の高等学校、地元町内会、本校の定年退職者に発送しているが、配布範囲の拡大を検討する。</p> <p>本校に対する高校教員及び保護者の理解、高校生への浸透を強化するため、各科ホームページの積極的な更新と、各科の特色等を動画に纏め SNS 上に公開しているが、十分な閲覧数に達していない現状がある。</p>	<p>最新の現場、知見、技術をスピーディーにカリキュラムに反映する「アップデート教育」を確実に実践するために、積極的情報収集を図ることとしていた。</p> <p>また、保護者会の開催も、仙台会場（本校）を軸に検討していたが、コロナ感染拡大に伴い今年度も困難な状況にある。</p> <p>社会情勢の変化を見極めつつ教育の質を担保するため、業界や保護者と連携を密にする具体的な方法を講じる。</p>	<p>学生便覧 各科運営方針 各科総括 くにも通信 季報</p>
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	4	<p>各科が定める教育目標や育成人材像については、業界の知見を有する教育課程編成委員や実習評価等で得た意見を基に定め、教育課程、授業計画等に速やかに反映させている。</p>	<p>各業界のニーズを的確に把握するため、教育課程編成委員会を設け、教育課程に反映させているが、今年度もコロナ禍で学内実習を余儀なくされたことにより業界の客観的評価を受けるまでには至っていない。</p>	<p>学生の実習到達度について、今年度は各科学内実習を実施しており、より客観的な評価を行うためにも、業界や外部者による講話等を積極的に導入する。</p>	<p>学生便覧 教育課程編成委員会議事録</p>

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか		<p>今年度2名、次年度1名の常勤教員採用について、業界に知見があり、かつ業界の推薦を得た人物を採用及び採用予定している。</p> <p>コロナ感染拡大により、各科学内実習となったが、施設や病院、事業所の責任者、現場担当者等多くの方々の協力を仰ぎ現場実習と何ら遜色のない実習を行っている。</p>	<p>アップデート教育の一層の充実を図るため、非常勤教員や実習先との意見交換会を全学的に行う必要があるが、コロナ禍にあつて開催はしていない。</p> <p>社会情勢の変化を見極めながら、適切な時期に意見交換会を実施したい。</p>	<p>今年度もコロナ禍の影響により実習を学内で実施したが、学生のモチベーションの維持と実習到達目標の達成に向けて、学内実習プログラムの整備と、関連業界に更なる支援・協力を依頼する。</p>	<p>各科時間割 非常勤講師一覧</p>
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4	<p>実学教育重視の観点から、「職業実践専門課程」認可前より全科で企業・施設等実習を取り入れているが、今年度もコロナ禍の影響により全学的に学内での実習を行った。</p>	<p>全科到達目標をより明確にし、学外・学内実習内容の充実を図り、個々の学生の将来像を見据えた実習内容の確認、再構築等今後も協議を継続する。</p>	<p>学生の実習評価について、関連業界と十分に協議し、改善点を把握しながら就職活動に役立つ指導を行う。</p>	<p>各科実習依頼文書等</p>
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	4	<p>将来構想についてはこれまでも継続して実施しているが、2019年度から2021年度の3カ年について、中期目標・中期計画を策定している。将来構想は教職員研修会等を通して周知し、学生・保護者にはホームページ等で公開している。</p>	<p>教育課程編成委員や外部評価委員の意見を基に、カリキュラムの変更・見直しを行っている。</p> <p>学生便覧に到達目標を明記する必要がある。</p>	<p>社会情勢を鑑み、科の編成について柔軟な考え方が重要であり、更に各科の到達目標はホームルーム等、折に触れて周知を繰り返し行う。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>「輝ける者を育むⅡ」として2019年度から2021年度までの3か年計画を策定している。今年度がその最終年度であり、進捗状況の総括に着手している。</p>	<p>病院機能の充実に欠かすことのできない診療情報管理士と東日本大震災の復興に貢献できる建築士の養成を目的に2つの専攻科を開設している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	熊谷 猛
--------	------------	-------	------

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校経営方針（運営方針・基本方針）については、年度第 1 回目の教職員研修会において全教職員に周知している。</p> <p>「学校運営方針」</p> <p>本校の教育理念を踏まえ、教育目標を具現化するために、本校の目指す学校像、今年度の学校経営方針を示し、基本方針達成の取組を通して、学生・保護者に対して満足度の高い学校づくりを行うこととする。</p> <p>本校の教育目標及び基本方針を達成するために 3 点の「運営方針」を定めており今年度も踏襲している。</p> <p>(1) 安心・安全な学校づくり</p> <p>(2) 協働態勢による学校づくり</p> <p>(3) 「職業実践専門課程」を推進する学校づくり</p> <p>「基本方針」は下記 4 点を掲げ実践している。</p> <p>(1) 基礎学力の強化</p> <p>(2) キャリア教育の充実</p> <p>(3) 「職業実践専門課程」の推進</p> <p>(4) 自己点検・自己評価の推進</p> <p>※2021 年度も新型コロナウイルス感染予防対策を継続し、運営方針・基本方針において柔軟な対応を図った。</p> <p><u>安心・安全な学校づくり</u>⇒健康管理、手指消毒・検温の徹底、教室等の換気、密の回避等の継続</p> <p><u>職業実践専門課程にかかるとの現場実習の扱い</u>⇒学内実習環境下での学生モチベーションの維持及び実習到達目標達成に向けた実習カリキュラムの整備</p> <p>⇒希薄な現場感覚を補うため、外部講師講話の積極的展開と細やかな就職指導の実施に重点を置いている。</p>	<p>基本方針の具体的計画も昨年に引き続き行うことを確認している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導目標 2. 指導の基本姿勢と方針 3. 授業の充実 4. 教員としての責任と役割 5. 広報活動の充実 <p>の 5 項目について、それぞれ 3～4 項目の具体的指示項目が示されている。</p> <p>また、各科も運営計画を策定しており、その内容は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育目標の設定 2. 指導方針の設定 3. 授業の取組姿勢の明確な設定 4. 教員の指導力・資質向上の具体策の設定 5. 成果達成目標（資格取得）の設定 6. 就職指導対策の具体策策定 <p>となっている。</p> <p>※昨年に引き続き新型コロナウイルス感染予防対策に重点を置きながら、年度当初から対面授業を実施し、多くの資格・検定試験において高い合格率を維持している。</p> <p>半面、学業の中で最も重要な学外実習が困難な状況下であり、学生は学内実習を余儀なくされることになった。現場実習を通して得られる業界の見聞、感覚、体験を養うことができず、科のディプロマポリシー水準までどのように引き上げるか、学内実習プログラムの構築、工夫が必要である。</p>	<p>目指す学校像について、以下の 5 項目を共通認識とし策定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の学ぶ者としての姿勢・態度がしっかりしている学校 ・キャリア教育に力を入れている学校 ・学生が明るく生き生きと生活している学校 ・学生の希望する進路を実現する学校 ・開かれた学校づくりを推進している学校 <p>学校教育の最も重要な柱となる授業の客観的評価について、常勤教員科目の「授業評価アンケート」を実施しているが、協力受諾を頂いた非常勤講師についてもその枠を広げ改善を図っている。</p> <p>また、卒業生全員に「学校満足度調査」を、新入生については全科共通事項による入学者調査を実施し、集約したデータを分析し、次年度以降の学校運営や募集計画に反映させている。</p> <p>※<u>コロナ禍における本校の指導・取り組み</u></p> <p>本校では学生、教職員とその家族の健康と安全を確保し、安心して教育研究活動ができる環境を維持するため、6 段階の ALART Level を設けた行動指針（BCP：Business Continuity Plan）を策定している。</p> <p>感染拡大状況に応じて授業や検定サポートの遠隔対応、課外活動の自粛、安全な会議のあり方、入構制限や在宅勤務等の体制が主な柱となっている。</p> <p>また、学生の就職活動に際し、首都圏を含む県外移動は「移動届書」の提出を求めている。</p>

最終更新日付

2022年4月21日

記載責任者

熊谷 猛

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか <input type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか <input type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4	<p>事業計画を踏まえた運営方針は、理念等に基づき策定されており、本校の運営方針や校務分掌など、年度初めの教職員研修会で全教職員に周知し、全教員を教務・学生・企画広報・キャリア対策の各委員会に割り当てており業務に対応している。</p> <p>更に科毎に運営方針、基本方針を掲げており、その具体的計画を示した運営計画を策定している。</p> <p>併せて、前年度総括も項目評価を行い校長に報告するとともに、各科の年度計画と前年度総括を全教員が共有している。</p>	(特になし)	(特になし)	学生便覧 事業計画 各科運営方針 各科総括 教職員研修会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営方針・事業計画は年度当初の第一回教職員研修会において周知し、特に学校運営方針は、校長より定例の運営会議・科長会議においても提示し、意識の共有を図っている。</p> <p>また、科毎に前年度総括と今年度運営方針を作成し、教職員全体集会において報告を行い、教職員全体で情報を共有するとともに客観性を担保している。</p> <p>新任の非常勤講師について、「新任非常勤講師会」を年度始めに開催し運営方針等を伝えている。</p>	<p>運営方針の実現に向けて、全職員がしっかりと連携、コミュニケーションをとる必要があり、校長、教頭、各学科長、各主事に事務部門を加えた専門学校構成メンバーに、法人事務局、アドミッションセンター長、キャリアサポートセンター長を含めた専門学校運営会議を毎月開催している。また、専門学校運営会議構成メンバーに各科長を加え、保健室看護師、アドミッションセンター課長、キャリアサポートセンター課長による科長会議も毎月開催している。更に、年3回の教職員研修会を開催し組織内浸透を図っている。</p>

最終更新日付

2022年4月21日

記載責任者

熊谷 猛

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画（3～5年程度）を定めているか <input type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか <input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか <input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4	<p>事業計画は、2019～2021までを軸とする3ヵ年計画「輝ける者を育むⅡ」を定め、今年度が総括年度となる。</p> <p>新たに2022～2024の3ヵ年計画を策定中である。</p> <p>予算は適切に配分され、担当する教職員を配置した業務分担が示されており、責任の所在を明確化している。</p> <p>計画の見直し等必要性が生じた場合は、専門学校運営会議において審議し改善している。</p>	<p>教員で組織する各種委員会について、教員の退職や異動、産休（育休）により、構成人員に欠員が生じることもあり、柔軟な対応が求められる。</p> <p>特に2021年度は、育休取得等3名が、半年から1年の間業務から離れており、それぞれが所属する委員会は人員的に厳しい対応を迫られた。</p>	各種委員会の構成人員の委嘱期間は原則2年間としているが、環境の変化に伴う人員入れ替えを可能にする柔軟な仕組みを検討する。	事業計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門学校中期目標・中期計画は2019年度から2021年度までの3ヵ年をスパンに策定し、単年度ごとに記した事業計画について取組んでいるが、今年度が最終年度であり、現在、その進捗及び達成状況を総括している。</p> <p>また、2022年度から2024年度までの中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅢ」を策定中である。</p>	特になし

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	熊谷 猛
--------	------------	-------	------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか <input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか <input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	<p>理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催し、必要な審議を行い、適切に議事録が作成されている。</p> <p>寄附行為を改正する場合は、評議員会に諮問し、理事会の議を経て、適正な手続きの基、改正されている。</p>	特になし	特になし	寄附行為 理事会運営規程 常勤理事会規程 役員及び評議員候補者選考規程
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか <input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか <input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか <input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	<p>学則に基づき学校運営に必要な事務組織が体系化され、事務分掌も明確化されている。</p> <p>事務部職務分担図は、年度当初に明示している。</p> <p>各審議事項に関しては、委員会及び各会議規程等で、それぞれの目的、構成員・組織、審議事項を明確に定めており、運営会議の議を経て決定され、科長会議や各委員会議事録は毎回作成・確認している。</p> <p>規則・規程等の改正は、理事会及び運営会議の義議を経て適正に行われている。</p>	バランスの取れた業務配分の構築が求められる。	業務内容や業務日程を把握し、適正な業務配分を行う。	運営会議規程 科長会議規程 事務組織規程 教務委員会規程 学生委員会規程 企画広報委員会規程 キャリア対策委員会規程 教育課程編成委員規程 入学試験入学者選考委員会規程 保健室規程

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか		人事考課制度を導入し、目標設定、自己評価、上席評価を行い、事務職員の意欲及び資質の向上に寄与している。	職員の意欲や資質の向上に係る研修等の実施が必要である。	研修等の実施を検討する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営組織は体系化されており、組織運営は適切に行っている。 組織の目標は、本校の将来構想・ミッションシート等で提示している。	特になし

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか <input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	<p>採用は、事業計画・欠員等による必要性に応じ、就業規則に基づく選考により決定されている。</p> <p>採用広報はハローワークインターネットサービスへの掲載を中心に、特定の職種については各協会等に求人情報の提供が行われている。</p> <p>給与支給は、就業規則及び給与規程に基づき適正に行われている。</p> <p>昇任は、各役職の選考規程による任用を行い、各役職手当を給与規程に定め支給されている。</p> <p>職員の人事考課は、職能資格基準及び評価基準の明示並びに目標管理を含む総合的な評価に基づく昇任を実施すべく取組まれている。</p>	<p>教員の人事考課制度の構築については、構想段階にある。</p>	<p>教員の人事考課制度について、業績評価とコンピテンシー評価を中心とした制度を構築中である。</p> <p>今後、同制度の導入・実施に向け調整を行う。</p>	<p>事業計画 就業規則 有期教職員就業規則 給与規程 専門学校校長・副校長・教頭・各学科長・各主事・各副主事選考規程</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の人事考課制度の構築について、構想段階にある。	職員については、新たな人事考課制度及び目標管理制度を導入し、本格運用の段階にある。

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4	<p>教務の業務処理は本校運営会議において、意思決定がなされ、財務等の業務処理は経理規程により意思決定が整備されている。</p> <p>法人の意思決定システムは理事会、常勤理事会等において意思決定の権限が明確にされ、本校の管理運営は専門学校運営会議で審議・決定している。</p> <p>学校運営に必要な意思決定システムは学則により明確にしている。</p>	特になし	特になし	寄附行為 理事会運営規程 常勤理事会規程 経理規程 運営会議規程 科長会議規程 事業計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>全教職員に対して全体集会を開催し、本校の将来構想・ミッションシート等を提示し、課題解決に向けた理解を深めるための対策を講じている。</p>	<p>本校の管理運営に関する重要事項は、最終的に専門学校運営会議で審議・決定されるが、科長会議、各委員会も提案を行う全学的な意思決定システムを構築している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> 情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4	<p>業務処理は、全教職員にパソコンが整備され、タイムリーな情報提供、情報共有、意思決定が行われているが、コロナ禍における遠隔授業や職員会議を円滑に行うため、全教職員にノート型 PC も配置している。</p> <p>教務面においては「ユニバーサルパスポート」システムで学籍管理や成績管理を中心に活用し、学生募集は「e v o (イーボ)」システムで管理され閲覧者を限定して運用している。就職支援については、「ジョブハンター2」により求人や企業情報がタイムリーに学生に伝達されている。</p> <p>システムのメンテナンス、セキュリティー管理は、外部業者に委託しており適切に行われている。</p>	<p>学生募集、就職支援システムについて、教員の理解とオペレーション技能を継続して高める必要がある。</p> <p>教職員の出退勤管理については、今年度より各自の PC から時間入力を行うシステムを導入しているが、今後は有給休暇の取得や公用外出等各種申請も行えるよう効率化を図る必要がある。</p>	学生募集、就職支援システムについては、全教員が情報を共有できるよう速やかに改善する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生に関するデータ活用について、学生管理や成績管理に活かされ、システムメンテナンスやセキュリティー管理についても適切に行われている。</p> <p>学生の出席管理については検討の余地を残している。</p>	特になし

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、関連業界や社会動向を踏まえた「教育目標」を科毎に設定し、学生便覧に明記している。また、各科運営方針の中に「指導方針」を設定している。</p> <p>教育課程については学科毎に教育課程編成委員会を編成し、企業や関連業界の意見を基に、現状・現況に即したカリキュラムの見直しを継続して実施している。</p> <p>昨年度はコロナ禍の影響を受けて公開授業を中止し教育課程編成委員会も紙面にて開催したが、今年度は公開授業を Web にて行うとともに、教育課程編成委員会も各委員から一旦紙面にて意見を頂き、集約の後、対面にて意見交換を行っている。</p> <p>毎年、授業評価アンケートを実施し、結果を分析し、授業担当者にフィードバックすることで授業内容の向上を図っている。</p> <p>成績評価については、本校履修規程において学生便覧に明記し、資格取得については、各科の到達目標を運営方針等において示している。</p> <p>教員体制については、「職業実践専門課程」認定に基づき、関連分野における業界等の有識者と連携を図り、業界等に精通した教員を採用する等、教育の質の確保に努めている。</p> <p>昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により、遠隔授業を余儀なくされたが、今年度はサーモグラフィーや CO2 センサーを新たに導入するなど、十分な感染予防対策の下、対面授業を継続させている。</p>	<p>教育目標や運営方針は、業界のニーズを踏まえ、時代の変化に迅速に対応する必要がある。今後も教育課程編成委員会の意見を基に見直しが求められる。</p> <p>教育目標に対しては、到達レベルに満たない学生に対する、きめ細やかなフォローアップ体制が求められており、試験対策の開催や少人数指導など効果的な学習方法を実施する必要がある。</p> <p>教育課程の編成については、教育課程編成委員会との連携強化により、また、業界に通じた外部委員からもこれまで以上に提案を求め、業界のニーズを踏まえた意見を教育課程に反映できる体制づくりを構築することが求められる。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大を契機に、いつでも遠隔授業、対面授業に対応できる環境を整え、教育の質の保証を担保する必要がある。</p>	<p>本校では、学科制を採用しており、「医療技術」「医療ビジネス」「総合福祉」「建築デザイン」の4分野で教育課程編成委員会分科会を開催している。</p> <p>これにより教育目標や教育課程について、業界のニーズ等に関する情報を収集し、学習到達レベルや求められる人材像を検討し、必要に応じて改善している。</p> <p>また、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会において、関連業界や卒業生等の意見を積極的に取り入れており、一方で公開授業等での授業内容や方法の確認・見直しといった取組を行うなど、学校内部・外部の2つの面で常に教育の質の改善を図っている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	津田 真彦
--------	------------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	4	各科の目標及び育成人材像に沿って、教育課程は毎年各科において議論され、各科運営方針及び学生便覧に明記している。	教育目標や運営方針は業界のニーズを踏まえ、時代の変化に迅速に対応することが求められる。	今後も教育課程編成委員会の意見を基に見直しを継続する。	学生便覧 教育課程編成委員会規程 教育課程編成委員会議事録
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4	<p>本校の教育理念や教育目標に沿って教育課程が編成され、教育課程表や授業科目内容、各種資格検定試験の情報は学生便覧に明記している。</p> <p>各科において卒業時に到達すべき目標として、各科運営方針等に基づき教育目標及び資格取得目標等を明確にしている。</p>	<p>視能訓練士国家試験の合格率は依然高い水準にある。また、医療ビジネス学科では、民間資格ながら日本医師会医療秘書認定試験において100%の合格率となった。他の学科についても、全国合格平均値を上回る合格率を継続していくことが求められる。</p>	教育目標に対して、到達レベルに満たない学生に対するきめ細やかなフォローアップ体制が求められており、試験対策の開催や少人数指導など、より効果的かつ効率的な対策を行う。	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育理念や教育目標に沿って教育課程は編成され、教育課程表や授業科目内容、各種資格検定試験の情報は学生便覧に明記している。</p> <p>また、成績評価の基準や単位認定についても履修規程に定めている。</p> <p>教育活動における改善方策としては、本校と企業等が連携を図り、実践的かつ専門的な職業教育を行うための意見や要望を取り入れ、教育課程の編成に反映し改善する取組を実施している。</p>	<p>学科制を採用しており、「医療技術」「医療ビジネス」「総合福祉」「建築デザイン」の4分野で教育課程編成委員会分科会を開催している。</p> <p>これにより教育目標や教育課程について、業界のニーズ等に関する情報を収集し、学習到達レベルや求められる人材像を検討し、必要に応じて改善している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	津田 真彦
--------	------------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4	<p>本校の教育理念や教育目標に沿って教育課程が編成され、「職業実践専門課程」認定に基づき、企業等との連携を基に、公開授業(※1)等を通し学校関係者評価委員及び教育課程編成委員からの意見や要望を把握し、教育の質の向上に努めている。</p> <p>コロナ感染拡大の影響により、今年度の公開授業はWeb上で開催し、情報を共有している。</p> <p>教育課程編成委員会では教育課程を編成する際の意見要望等を議事録に纏めている。</p> <p>また、教育課程における科目分類に関しては、基礎教育科目、専門必修科目及び専門選択科目、総合科目に分類し適切に配分している。</p> <p>授業方法についても、講義、演習、実習と授業形態を明示し、授業時間数及び単位数は学生便覧に明記している。</p>	<p>今年度は各学科ともコロナ禍の影響により学外実習を学内実習に切り替え実施している。</p> <p>学内実習のあり方については、教育課程編成委員や現場の意見を参考に実施しているが、学生に対してどのように実体験感覚を持たせるかが課題である。</p> <p>コロナウイルス感染拡大により、非常勤講師にもいつでも遠隔授業ができるよう対応を求めている。</p>	<p>コロナ禍における学内実習のあり方について、教育課程編成委員や、外部委員からの業界のニーズを踏まえた意見を基に、学生のモチベーションを維持した実習プログラムを構築する。</p> <p>非常勤講師が担当する授業科目については、個々の学生の理解度や問題点等情報を共有し、専任教員や担任が確実に把握できるよう密なコミュニケーションが必要である。</p> <p>また、新任講師を対象にした講師会は年度当初に開催しているが、前期・後期の授業スタート時に、学科または科による非常勤講師との連絡会が望ましく、開催方法等について具体的に検討する。</p>	<p>学生便覧 授業概要(シラバス) 教育課程編成委員会議事録</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について授業計画(シラバス・コマシラバス)を作成しているか <input type="checkbox"/> 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか		<p>科目ごとに授業科目内容を学生便覧に明示しており、また、授業概要(シラバス)を作成・配布している。</p> <p>年3回の教職員研修会(※2)を開催し、授業内容の向上、教育の質向上を図っている。</p> <p>教育課程の見直しについては教育課程編成委員会で協議し、必要に応じて改定している。</p>	<p>授業概要は、授業の進捗状況や業界の環境変化において変更を余儀なくされる場合もあり、状況に応じて適宜見直しを行う必要がある。</p>	<p>授業概要と実際の授業進捗状況との分析を行いながら、補講を含めた見直しを適宜行う。</p>	
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	<p>教育課程の編成及び改定については、学校関係者評価委員及び卒業生を含む教育課程編成委員の業界意見、提案を反映している。</p> <p>職業実践教育の効果については、授業評価アンケート調査や卒業時に行う「教育環境や学生生活」アンケート調査、更に各科が行っている学外実習の個々の評価を分析し教育課程の編成・改定に役立てている。</p>	<p>業界等の意見を速やかに教育課程に反映させる体制は整っているが、国家資格養成科にあつては、教育課程の制約により柔軟な改定が困難な状況にある。</p>	<p>国家資格養成科については、業界等の意見を速やかに教育課程に反映させることは難しいが、授業や実習内容を工夫する。</p>	<p>教育課程編成委員会議事録 授業評価アンケート結果 教育環境や学生生活アンケート調査結果</p>
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4	<p>学生のキャリア指導に関して、就職支援を含め方針を決めて行っている。</p> <p>キャリア対策委員会とキャリアサポートセンターが連携し教育内容・方法・教材等の工夫を行っている。</p>	<p>多様化する学生の個々のレベルに合わせたキャリア教育対応が求められる。</p>	<p>個別の能力に合わせたキャリア教育を実施する。卒業後も含め、支援という立場で相談・援助を行う。</p>	<p>学生便覧</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	□キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか		キャリア教育等の効果について、実習先の卒業生や教育課程編成委員会の外部委員を中心に、就職先との連携を取っている。	今年度はコロナ禍において、実習先や企業、外部委員との交流に制限があり、十分な意見や評価聴取に至っていない。	外部委員や就職先・卒業生より幅広い意見の聴取を引き続き行う。	学生便覧
3-9-4 授業評価を実施しているか	□授業評価を実施する体制を整備しているか □学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか □授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか □教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4	授業評価については、16項目による学生アンケート調査を実施している。 この内容・評価については教務委員会により取り纏め、校長に報告している。 アンケートの結果は、各自のデータ集計によりフィードバックされ授業内容の改善を図る機会となっている。	非常勤講師に対しても授業評価アンケート協力を依頼しているが、実施件数が少数にとどまっている現状がある。	非常勤講師の授業評価アンケートについて、今後も継続して協力を依頼する。	授業評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育理念や教育目標に沿って教育課程が編成され、「職業実践専門課程」認定に基づき、企業等との連携を図り、学校関係者評価委員及び教育課程編成委員からの意見や要望の把握に努めるとともに、教育課程の見直しを行い、教育の質の向上に努めている。</p> <p>また、学生による授業評価アンケート調査の実施により、フィードバックし授業内容の改善を図る体制を構築している。</p>	<p>教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会において、関連業界や卒業生等の意見を積極的に取り入れている。</p> <p>また、在校生による授業評価アンケート及び教員による公開授業等での授業内容や方法の確認・見直しといった取組により、学校内部・外部の2つの面で常に教育の質の改善を図っている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	津田 真彦
--------	------------	-------	-------

※1：2021年度 公開授業（Web開催）
介護福祉科2年 教科名：介護支援技術

※2：2021年度教職員研修会の主な議題（授業・学生指導関連）は以下の通り
第1回（4月28日）・2021年度運営方針、広報戦略について
第2回（9月22日）・今年度後期授業に向けたコロナ対策について
第3回（1月7日）・「大学等における就学支援のための法律」に基づく高等教育支援制度

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・ 修了認定基準を 明確化し、適切に 運用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4	成績評価の基準や単位認定については、入学時に全学生に配付する学生便覧において、東北文化学園専門学校履修規程を含め明示している。 成績評価・修了認定基準に関しては、年度末に進級判定会議及び卒業判定会議を開催し審議を行い、客観性・統一性を確保し運用している。	特記事項なし	特記事項なし	学生便覧
3-10-2 作品及び 技術等の発表に おける成果を把 握しているか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	コロナ禍において卒業制作展等開催が危ぶまれたが、Web 審査を導入し学生の発表の機会を例年通り確保している。 また、設計競技等校外内の応募を推進し、発表の機会を増やしている。	作品及び技術の質の向上のためには、外部からの評価が重要になるが、十分な作品数には至っていない。 学生を成長させるためにも企業等との連携を図り、様々な意見を得る必要がある。	より多くの企業との連携を図り、外部評価、指導・助言を基に、さらなる技術力の向上を目指す。	卒業制作展作品集

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価の基準や単位認定については、東北文化学園専門学校履修規程において学生便覧等に明示している。 また、学生便覧により、専任教員及び非常勤講師、学生に周知徹底されている。それらに基づき学生指導支援にあたっている。	特になし

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	津田 真彦
--------	------------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	<p>各科が取得目標とする資格・検定について、学生便覧に明記し入学時に説明している。</p> <p>更に関連科目の位置づけや特別講座、補講等の取組みを明確にしている。</p>	<p>取得目標の資格・免許についての意義は明記しているが、さらなる教育の質向上のために、外部委員や外部団体より現場ニーズに対応した資格(検定)を常に取り入れる必要がある。</p>	<p>各科毎に業界のニーズに合う資格・免許かどうかを検証し、場合によっては取捨選択等精選を行う。</p>	学生便覧
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒業後の指導体制を整備しているか	4	<p>国家試験、各種資格試験について、常勤教員が中心となり試験対策を行っている。</p> <p>今年度は、昨年以上のコロナ感染対策を講じながら対面授業を展開してきたことにより、各学科ともに資格・検定の合格率は全国平均を上回る高い水準を維持している。</p> <p>重要な資格・検定の不合格者や卒業生についても継続して指導を行っている。</p>	<p>重要な資格・検定未取得の卒業生に対し、対策補講を週末に実施しているが、勤務の兼ね合いから徐々に受講人数が減少してくる傾向にある。</p>	<p>卒業生に対する資格取得対策については、開催する時期や時間帯も含めて、アンケート等による再調整を行う。</p>	資格試験現況調査

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>専門学校の教育課程は、各科が掲げる職業に就くために必要な専門知識と技能を修得するために定められている。各種の資格取得は、そのために必要不可欠なものであり、教育成果を示すものである。</p> <p>学生一人ひとりが自ら学習するための目標、学習意欲維持向上に大きな効果があると考え、本校では、資格受験・取得を指導している。</p>	<p>全科が「職業実践専門課程」(専攻科を除く)の認定を受けており、目標を明確化した授業を行っている。併せて、各科主目標となる資格・検定試験対策も強化しており、各種資格・検定試験の合格率は全国水準を上回っている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	津田 真彦
--------	------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか <input type="checkbox"/> 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか <input type="checkbox"/> 教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか <input type="checkbox"/> 教員の採用計画・配置計画を定めているか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか <input type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	<p>専修学校専門課程の教員要件に該当する教員を配置している。</p> <p>国家資格養成学科については法令で定められている教員要件を遵守して専任教員及び非常勤講師を配置している。</p> <p>また、優れた教員の確保については、「職業実践専門課程」認定に基づき、関連分野における業界等の有識者と連携を図り、業界等に精通した教員を確保する等、教育の質の確保に努めている。</p> <p>今年度は2名の教員を採用し、次年度1名の教員採用を予定している。</p> <p>教員一人当たりの授業時間数については、毎年、時間割作成時に教務委員会において教員稼働表の取り纏めを行っており、各科において過剰な時間数とならないように配慮している。</p> <p>尚、本校の常勤教員は24名で構成され、内、女性教員は13名で、構成比54%を超えている</p>	<p>専任教員及び非常勤講師は確保されているが、国家資格養成等における指定科目においては、教員の採用要件が厳しい場合がある。</p> <p>今後、教員採用等の人材確保において、関連業界等とさらなる連携をとる必要がある。</p>	<p>教員確保については関連業界との連携、人材交流を基にした専門性の高い教員を確保しており、実務経験のある教員の授業科目の配置は、適正に行われている。</p> <p>実務経験の浅い新任教員については、関連業界との交流を積極的に行う必要があり、併せて、宮城県専修学校各種学校連合会が主催する専門学校新任教員研修会参加を継続する。</p>	<p>授業概要（シラバス）</p> <p>職業実践専門課程基本情報</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4	<p>教員の資質向上について、全教員対象の研修会を年3回以上開催し、教員が外部研修に参加した場合は、当該研修会において研修報告を行い、全教員が情報共有する取組を実施している。</p> <p>また、学校関係者評価委員及び教育課程編成委員を加えた公開授業を行い、教員の授業力向上に取り組んでいる。</p>	<p>外部研修に参加した教員の報告内容を、他の教員がどう授業や学生指導に役立てるか、自分に置換する姿勢が重要である。</p> <p>公開授業については、学校関係者評価委員及び教育課程編成委員の参加を求めているが、参加者が少数にとどまっている状況にある。</p>	<p>教員の資質向上の取組としては、専門分野の知識や技術力向上を図るため、積極的な研修等の参加を促す。</p> <p>公開授業については、学校関係者評価委員及び教育課程編成委員が積極的に参加できるよう日程調整等を行う。</p>	教務研修計画書
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4	<p>「東北文化学園専門学校 人事配置」及び「東北文化学園専門学校 校務分掌」等において業務分担・責任体制は明確化している。</p> <p>授業科目担当教員の稼働表を学科毎に作成し、教員間で連携・協力体制をとり授業内容・教育方法について改善を図っている。</p> <p>学生による授業評価アンケート調査を16項目で実施している。</p>	<p>授業内容・教育方法の改善の取組としては、公開授業や授業評価アンケート等を実施している。</p> <p>授業評価アンケートについては、非常勤講師の実施状況が少数にとどまっている現状であり、今後、授業の質向上に向けて協力の拡大を図る必要がある。</p>	<p>授業内容・教育方法の改善の取組としては、非常勤講師の授業評価アンケート協力依頼を継続し、授業内容等を改善していく。</p> <p>また、多様化する学生に対応するために、専任教員と非常勤講師間で常に情報共有を密にし、連携強化を図る。</p>	人事配置図 校務分掌 授業評価アンケート 職業実践専門課程基本情報

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教員の授業力・資質の向上に関する取組として、全教員対象の研修会を年3回以上開催している。専任教員と非常勤講師との連携・協力体制では、各科必要に応じて講師会を開催し、個別に意見交換を行う等連携強化を図っている。</p>	<p>ホームルームの有効活用が図られ、折に触れて個人面談を行い、学習面及び生活面で学生生活を支援している。各学科に本校卒業生が教員として在職しており、時に学生目線に立ちながら、現場での経験等を授業や学生指導に活かしている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	津田 真彦
--------	------------	-------	-------

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専修学校は、経済社会・業界のニーズに応える人材を育成し、世に輩出することで社会貢献に資することが使命である。</p> <p>本校では、常に時代の趨勢に即応し、実践力になり得る技術の修得と知識の涵養を図り、豊かな人間性を備え、社会に奉仕できる人材を育成することを目的とする。との教育理念のもと、社会に貢献できる人材の需要に対応できる職業人育成を第一としている。</p> <p>上記の実現に向けて、キャリア教育を実施するために、キャリアサポートセンター、キャリア対策委員会を設置し、担任を中心とした教員との連携のもと、就職支援を行っている。</p> <p>就職率、資格免許の取得率はキャリアサポートセンター、キャリア対策委員会によって数値化され、各科にフィードバックされるとともに情報公開している。</p> <p>国家試験・各種資格試験等の取得に向けての指導については、学校全体として取組んでおり、授業や対策講座・個別指導を行い、合格率の向上を図っている。</p> <p>卒業生の評価把握は、実習や就職活動において教員の現場との接触から得ることに留まっている。</p>	<p>教育理念に基づいた専門性の高い人材を育成するために、国家資格・各種資格検定の取得は必須である。指導方法を常に見直すことが重要である為、就職率、資格免許の取得率の客観的評価を継続していく。</p> <p>進路のミスマッチを防ぎ、適性に沿った進路指導を行うためには、多面的な評価をすることが求められる為、各部署の連携や情報共有をより深めていく必要がある。</p> <p>また、卒業生の社会的評価を得ることで、求められる人物像をより明確にし、社会に必要とされる職業人を育成する必要がある。</p>	<p>キャリアサポートセンターでは、スタートガイドから内定までを系統的に行っている。Web 上で求人を検索できるだけでなく、キャリアハンドブックの閲覧や手続き書類、履歴書のダウンロードなどコロナ禍におけるリモートの需要に対応している。</p> <p>ハローワーク職員による面接指導も継続して行われており、対面対応ができない場合でもオンラインで実施している。</p> <p>また、各種セミナー、就職ガイダンス、就職用写真撮影会など、総合的なサービスを提供している。</p> <p>コロナウイルス感染予防対策の一環として、今年度も「県外移動が生じる就職活動に係る届出書」の提出義務付けを継続している。</p> <p>キャリア教育については、目指す職業の理解が基本であるので、早期から業界を意識した教育を各科毎に行っている。現場で働く外部講師との関わりや実習を通じた実践教育と並行して、学生一人ひとりのニーズを把握し、長期的な指導を継続している。</p>

最終更新日付

2022年4月21日

記載責任者

二本柳 淳子

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか <input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか <input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	<p>卒業前年度に「進路希望調査」を行い、<u>就職希望者全員の内定(※3)</u>を常に目指している。また各科運営方針において年度の目標設定をしている。</p> <p>就職活動については、担任・キャリアサポートセンターが連携し対応している。</p> <p>総合的な就職セミナーのほか、福祉・医療・建築系に合わせた業種毎の学内合同説明会・セミナーや学内個別企業説明会を実施している。</p> <p>就職率、内定先データはキャリア対策委員会を通しキャリアサポートセンターに集約、適切に管理している。</p>	<p>卒業年次進級時に提出する進路希望調査票を分析すると、分野未定や他職種と回答する学生も散見され、学生の就職意識に個人差がある。</p> <p>専門分野への就職について明確な意識付けが重要である。</p>	<p>各科で示している教育課程を履修することが、その分野のスペシャリストにつながることを授業やホームルームで説明し、また、将来進むべき分野に関する魅力の発信を、業界セミナーや卒業生 OB・OG を通して積極的に行う。</p> <p>一部の不本意入学者や資格・検定不合格者に見られる他分野就職希望学生には、担任、科長、学科長によるガイダンスを徹底し、方向付けを行う。</p>	<p>学生便覧 キャリアハンドブック 各種資格検定試験実施結果</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職は、専門学校での職業教育の成果の一つであり、最重要項目である。また内定先・就職率は学生募集に大きな影響を与える。</p> <p>本校では、就職率を上げる事、長期在職が可能となる希望業種への就職に向けた指導と、実習を通じた実践力や社会人としての質的向上を図っている。</p>	<p>就職活動の意識付けとしての就活出発式を実施している（2021年度は未実施）。また、業界知識を習得させるための業界理解・分析セミナーの開催や大学と合同の就職ガイダンス、分野別ガイダンスを行っている。</p>

※3：就職内定率 100%

進路決定率 94.4% *就職対象外者 49名 内訳：進学 39名、未決者 10名（未決者内訳：病気療養 5名、国試準備 3名・勤務地限定 2名）

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	二本柳 淳子
--------	------------	-------	--------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか <input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか <input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	<p>年度当初の運営方針にて各資格試験の合格目標を明確にしている。</p> <p>また、外部講師や現場の専門家による講座で実践的な学習支援を行うとともに、連携して指導方法の改善を図っている。</p> <p>合格実績に関しては、各科にて検証し、年度ごとに総括をしている。</p>	外部講師や現場の専門家と連携して行う指導には、内容や方法についてまだ改善の余地があり、継続して検討する必要がある。	状況に応じた学習環境が整えられる様ハード、ソフトの両面から改善を継続する。	学生便覧 各種資格検定試験実施結果

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、「職業実践専門課程」の認定を受け実学教育を行っている。資格取得はその中核である。各科主となる重要な資格、標準的な資格等目標を設定し、学生に合わせた合格支援を行っている。</p> <p>資格取得率の向上を目指し、科教員・教務委員会・キャリア対策委員会が各部署の特性を活かして連携し、体系的な支援を継続している。</p>	<p>本校では、各科それぞれの特色・目的に応じて、授業とその成果を示す検定試験や資格取得を積極的に勧めている。</p> <p>また、認知症サポーター研修やAED講習会、働く者の権利に関する講座等を適宜設け、社会人としての育成を目指している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	二本柳 淳子
--------	------------	-------	--------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか <input type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	3	<p>実習や就職先訪問等を通し、就職先との情報交換や連携を行い、卒業生の動向を把握している。</p> <p>求人に関わり付くケースも多く、キャリアサポートセンターと情報共有をしている。</p>	<p>卒業生の社会的評価を得る方法について検討を継続しているが、個人情報やシステム開発の費用等の制約によりまだ確立していない現状にある。</p> <p>各種業界主体の研究会において、卒業生の評価を得る機会となっていた企業との意見交換会が、コロナ禍において開催されていないことから、情報収集に向けた何らかの対応が必要である。</p>	卒業生及び同窓会、企業との連携・情報交換を更に進め、卒業生の社会的評価について確実に把握する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育内容は、医療技術、福祉、建築、医療ビジネスと多岐にわたっている。それぞれの業界で管理職や指導的立場で活躍している卒業生も多い。</p> <p>卒業生との連携は十分に取れているが、客観的な社会的評価を分析し教育にフィードバックする必要がある。</p>	<p>本校創立43年の歴史において、卒業生は地方議会議員や各業界で経営または指導的立場に就いており、大学、専門学校等教育機関においても活躍している。分野別卒業生の今年度の活動について一例を挙げれば、視能訓練士科卒業生は、学生と共に眼科領域のボランティアや幼稚園児健診、健康調査等社会貢献活動に携わっている。建築士連合会青年委員長を務める卒業生は「これからの建築士像」について中堅世代を対象とした全国的な意見交換会を主催、医療事務分野では、2年に一度の診療報酬改定の説明会主担当者として医療機関の信頼を集め、福祉分野の卒業生は生活困窮者向けフードバンク NPO 法人を立ち上げるなど輝かしい活躍をしている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	二本柳 淳子
--------	------------	-------	--------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は同一敷地内に大学を有しており、図書館、体育館及び自習室等の施設を共用し設備面での教育環境は充実している。</p> <p>学生指導面では担任制により学生の個別的な問題にきめ細かく対応できる体制が整っている。</p> <p>特に、就職支援はキャリア対策委員会、キャリアサポートセンター及び担任が連携し就職活動状況を把握し対応している。</p> <p>学生の健康管理面では保健室を設置し、校医、看護師が配置されている。また、学生相談室も設置し、心理面での相談支援もできる体制が取られている。</p> <p>経済的な支援としては学校独自の奨学金制度や学納金減免制度を有している。</p> <p>学生のサークル活動やボランティア活動においては、コロナ禍における課外活動の在り方について検討したが、自治会主催イベント以外の活動は自粛せざるを得なかった。</p> <p>新型コロナウイルス感染対策として、専門学校3か所の出入り口とエレベーター乗降口、各実習室入口に手指消毒アルコールスタンド、教室に加湿器を設置し、併せて各科に非接触型体温計を配置するとともに、全学生に日々の健康状態を記入（健康チェックシート）させ万全な対応をとっている。今年度は更に通常授業期間中の学生の入構を正面入り口1か所に限定し、サーモカメラによる入構時検温と手指消毒、エレベーター乗り入れを教職員の協力を得て実施し、感染予防対策を強化している。入り口を1か所にしたため、雨天時の入構が密になることから、混雑解消を図る目的で傘袋自動装着機を2台設置した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針(BCP)のアラートレベルに準じた活動計画を立て、学生の課外活動(サークル活動やボランティア活動等)の支援に努め、感染状況等正確な情報を把握しながら、適切な予防指導を行う。</p>	<p>「職業実践専門課程」に認定された専門学校として各種業界や企業と連携した教育活動を実践している。</p> <p>教育課程の充実を図り、業界の動向や技術の進展に対応し即戦力となる人材の養成に取り組んでいる。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	阿部 秀樹
--------	------------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか <input type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか <input type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか <input type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4	<p>就職・進学ともに各科の担任または教員、キャリア対策委員会、キャリアサポートセンターが連携し支援にあたっている。</p> <p>支援には学生に配布したキャリアハンドブックを利用し、指導方法を統一している。</p> <p>キャリアサポートセンターでは分野別に専任職員を配し、各科担当として教員、学生それぞれ個別に対応している。</p> <p>センター職員だけでなくハローワーク等外部講師を有効に使い、リモート面接にも対応している。</p>	<p>これまで専門学校では、大学が設置するキャリアサポートセンターにおいてリモート対応を行ってきた。</p> <p>しかし、一度に多くの学生の利用は困難なため、専門学校内においてリモートで行われる就職説明会や面接試験等、実施ができるスペースと機器の整備を急ぐ必要がある。</p>	<p>コロナ禍における就職活動、試験対策としてリモート対応は必須である。</p> <p>学生の不利益にならないよう専門学校メディアセンター内に専用スペースを設置する方向で具体策を講じる。</p>	<p>学生便覧 キャリアハンドブック 学園ホームページ (キャリアサポートセンターページ)</p>

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
<p>就職希望者はほぼ自分の希望に沿った就職をしている。就職希望者内定100%の目標のために、業界から求められる人材を育成できるよう、早期より学生の意識付けを行い、就職活動を支援している。</p>	<p>求人先に関してオンラインで検索、エントリーや就職関係イベントの申込ができる「ジョブハンター2」を公開し、学生が24時間情報を閲覧できるようにしている他、登録した求人情報がメールで配信される。</p> <p>キャリアハンドブックも Web 上で閲覧できる他、面接指導や各種書類のダウンロードなどリモートへの対応をしている。</p>

最終更新日付

2022年4月21日

記載責任者

二本柳 淳子

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか <input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか <input type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	<p>クラス担任制により、学生の状況を常時把握し、科長会議等で情報共有を図っている。</p> <p>保護者への連絡は適宜行い、その経過について学生記録簿等に記録し保存している。</p> <p>退学者(※4)の低減については、経済的事由の申し出が依然多いことから、「高等教育の修学支援新制度」や「日本学生支援機構緊急給付金」の活用を積極的に勧め改善を図っている。</p> <p>メンタル面を含めた健康上の問題による退学者は、クラス担任、保健室、学生相談室の三者連携により、要医療者を除き減少傾向にある。</p> <p>学習面では担任が特別の指導を必要とする学生を把握しており、随時、授業の内容確認や個別指導を行っている。</p>	<p>退学者ゼロを目指し様々な対応を行っているが、健康面以外の悩み相談で保健室を訪れる学生が多い。</p> <p>学生相談室の利用促進に向けた周知を継続する必要がある。</p>	<p>コロナ禍において、アルバイト自粛等による経済環境の変化は、生計の維持が困難になることに繋がるため、学生に対して「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』等の周知を継続して行う。</p>	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)						
退学を最小限に留めるようクラス担任による学生の観察及び出席状況把握を日常的に行い、ホームルームでの集団的な指導のほか、個別の面談指導等を随時実施している。	<p>※4：過去3年間の退学率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2021年度</th> <th>2020年度</th> <th>2019年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.1%</td> <td>3.1%</td> <td>4.7%</td> </tr> </tbody> </table>	2021年度	2020年度	2019年度	4.1%	3.1%	4.7%
2021年度	2020年度	2019年度					
4.1%	3.1%	4.7%					

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	阿部 秀樹
--------	------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか	4	<p>学生相談担当教員を配置し専用の相談室を設置している。</p> <p>利用方法等については学生便覧に掲載し、入学時のオリエンテーションで、案内チラシを用いながら説明している。</p> <p>また、校内各階の掲示板で常時利用案内を掲示し、相談記録については、学生相談担当教員が適切に保存している。</p>	<p>学生からの相談の多くは担当が対応しており、精神面、身体面に関する悩みは保健室と連携しながら対応している。</p> <p>学生相談室に対する潜在的なニーズがある可能性も考えられるため、更に利用しやすい環境作りが必要である。</p>	<p>担任、保健室が連携し、相談室の役割についてホームルーム等で周知するなど、認知度を高めながら相談しやすい環境作りを継続して推進する。</p>	学生便覧
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	非該当	<p>今後、留学生の受け入れが見込まれる場合は、宮城県専修学校各種学校連合会との協議により対応することとしている。</p>	(特になし)	(特になし)	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>担任と保健室及び学生相談室が連携し学生の相談支援を行う体制を構築しているが、悩みによっては担任と距離を置きたい学生もおり、学生相談室の役割を周知し利用を促進する必要がある。</p> <p>学生支援を担当する学生委員会では、全国学生相談研修会等に毎年教職員が参加し、近年の社会状況を踏まえた学生支援のあり方について知識とスキルの向上に努めているが、コロナ禍の影響を受け研修会等の参加が難しい状況にある。</p>	<p>特になし</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	阿部 秀樹
--------	------------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	<p>学校独自の奨学金制度及び学費の減免、分割納付制度には、コロナ禍の影響による事由も加え延納も可能にしている。</p> <p>大規模災害発生時の支援制度についても制度化して実施している。</p> <p>全ての経済的支援制度について随時担任を通じて学生・保護者に情報提供を行っており、更に校内に掲示している。</p> <p>経済的支援制度の相談は事務担当者が対応し利用状況は事務部が実績を把握している。</p>	<p>コロナ禍による経済的影響の緩和措置として、学費の分割納付制度や、国の制度等の利用をホームルームやホームページ上で働き掛けている。</p> <p>学生や保護者から担任宛に切羽詰まった状況で相談され、初めて支援制度があることを理解される現状から、効果的な周知の方法を検討する必要がある。</p>	<p>経済支援制度について、学生支援機構の緊急採用や「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』のほか、社会情勢に合わせた支援策は、それらの申込件数を把握しながら、ホームルーム等で速やかに、かつ継続して周知する。</p>	<p>学生募集要項 学生便覧</p>
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	4	<p>学校保健計画を定めており、学校医を選任し保健室を整備して看護師を配置している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、今年度は、昨年定めた対応ガイドラインの実態に即した改定と、新たに「感染報告書」を整備している。</p> <p>定期健康診断を実施し、記録を保存するとともに、有所見者の再健診について適切に</p>	<p>新型コロナウイルス感染症について、今年度は6名の学生の感染が報告されたが、いずれも散發的であり大きな影響はなかった。</p> <p>感染症予防対策は、今後とも臨機応変に対応する必要がある。</p>	<p>コロナウイルス感染状況に即した対策については速やかに実施する。</p> <p>健康（精神含む）不安のある学生に対して、担任、学生相談室、保健室の連携は図られているが、状況に応じて校医の判断を仰ぎ、適切な医療機関紹介を行う必要がある。</p> <p>今後の対策については、社会情勢の動向を鑑み、</p>	<p>学生便覧 保健便り 新型コロナウイルス関連文書</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか		対応している。 保健便りの発行等により、啓発及び教育を行いながら保健室と学生相談室が連携し心身の健康相談に対応し、必要に応じ近隣の医療機関を紹介している。		随時見直しを行う。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4	学園提携の学生専用マンションがあり、入居者の把握もなされている。 管理会社が24時間体制で管理している。	特になし	特になし	学校案内
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	4	サークルごとに教員が顧問となり、活動状況を把握している。 全学生で組織される自治会の会費から各サークルへ予算を配分し活動を支援し、年度毎の活動報告書により収支を把握している。	コロナ禍において、サークルの課外活動を制限したことに伴い、構成人員が減少し、休眠状態になっている。 この傾向は運動系サークルに散見される。ソーシャルディスタンスを守りながら活動しやすい環境づくりが急務である。	コロナ禍における課外活動の在り方について、学校行事や自治会主催のイベントの開催方法を検討し、できるだけ継続できるよう環境づくりを行っている。	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の経済的支援、健康管理、生活環境支援、課外活動支援は相当程度充実しているが、コロナ禍の影響を鑑み今後も一層の向上、充実に努めている。	本校の課外活動の特色としては学生全員で組織される自治会が挙げられる。自治会活動の主体となる役員の不足等、難しい面もあるが可能な限り学生の参加を促進し、活性化を図る。

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	阿部 秀樹
--------	------------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	4	<p>学業状況については成績・出席状況を保護者宛に送付している。教育活動については学校便り(「くにも通信」)を発行し、保護者に送付している。</p> <p>個別面談が必要な場合は適宜行い、担任で対応が難しい場合は、学科長や教頭が同席して実施する仕組みを講じており、担任が内容を記録している。</p> <p>学力不足、心理面等の問題については、担任が保護者に連絡し、連携して問題解決にあたっている。</p> <p>緊急時の連絡先は学生記録簿で管理し、安否確認用のメールアドレスと電話番号をホームページに掲載している。</p>	<p>遅刻・欠席が散見される学生の保護者への状況報告と督促の依頼は、できるだけ速やかに行う必要がある。</p> <p>学生の家庭環境が複雑なケースでは、保護者との連携が難しい場合もあり、今後は科長会議や学科長ミーティング等で情報を共有し、学校全体で取り組む必要がある。</p>	問題が生じた場合は担任のみで抱え込まず、科、学科及び学校全体で情報共有を行い解決する方針をとっていく。	学生便覧 くにも通信

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>保護者との連携については、出席状況等で何らかの兆候が生じた際には随時連絡を取ることにしている。</p> <p>また、科内や学科内での情報共有を図り、担任が抱え込まない体制を取っている。</p>	特になし

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	阿部 秀樹
--------	------------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4	<p>同窓会が組織され本校を会場に定例役員会が開催されており、事務課担当者が同席している。</p> <p>卒業生に対しては教員を中心として積極的かつ継続的に就職相談の支援を行っている。</p> <p>科によっては関連学会等を活用したキャリアアップや研究活動の支援を行っている。</p>	<p>国試系の学科では、卒業後のキャリアアップのための講座を開催し、研究活動の支援も行っている。</p> <p>国試系以外の学科でも積極的に実施する必要がある。</p>	卒業生の現況等情報の収集に努め、必要に応じて支援体制を構築する。	(同窓会ホームページ)
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	3	業界と連携した再教育プログラムの開発実績はないが、科によっては学会・研究会活動において関連業界等と連携・協力を行い、卒後教育を行っている。	関連業界・職能団体等と再教育プログラムの共同開発に取り組む必要がある。	関連業界・職能団体と連携し、再教育プログラムの開発が可能となるよう体制を整備する。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	4	<p>社会人経験者が専門実践教育訓練給付制度を活用し若干名ではあるが入学している。</p> <p>図書館については夜間、土曜日にも開館しており、社会人の別なく利用しやすい環境を整えている。</p> <p>就職相談はすべて個別に行っている。</p>	<p>今後は社会人経験者の専門学校に対するニーズを把握し、社会人の入試方法についても具体的に検討する必要がある。</p>	学校として積極的に受け入れていくよう取り組んでいく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会人受け入れについては専門実践教育訓練給付制度の活用を働きかけている。また、介護福祉士修学資金貸付事業により、条件を満たせば本校介護福祉科2年間の学納金とほぼ同額が無償となるため、介護福祉士国家資格取得を目指す社会人にも勧めている。</p>	<p>同窓会による在校生に対する支援は、主に学園祭等自治会活動を通じて継続的に行われている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	阿部 秀樹
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育環境の最大の特徴としては、姉妹大学が同一敷地内にあり、大学の施設を使用することができることが挙げられる。</p> <p>これにより、本校の学生は、専門学校としては珍しい大学設置基準を満たした図書館や体育館などの施設設備を使うことができ、授業についてはもちろんのこと、放課後の自主学習、サークル活動、学園祭などの学生生活全般の質的向上が図られている。</p> <p>学外実習、インターンシップについては、全ての科が行っている。</p> <p>防災に関しては、本校独自の「震災対応マニュアル」（小冊子）を作成し、すべての学生に配布すると共に、ホームルームで、冊子の使い方について担任が説明を行っている。</p> <p>2019年度までは、専門学校の教職員・学生全員が参加し、同一敷地内の姉妹大学と合同での避難訓練を実施していたが、2021年度においても、昨年同様新型コロナウイルス感染症予防による3密回避のため、実施を見送った。また新入生を対象に救急法（AEDを含む）講習会の実施も見送っている。</p> <p>専門学校の教室群が入る2号館は経年劣化が進んでおり、特に建具の不具合も目立ってきている。施設内の点検を行い状況に応じた修繕を予定している。</p>	<p>充実した施設設備を更に使いこなすため、授業方法の工夫や学生の主体的な活動を活性化させる取り組みに力を注いでいく必要がある。</p> <p>施設設備の改築・改修・更新については、年次計画を立て取り組んでいるが、新たな不具合が生じていることから優先順位に沿った検討を行う。</p> <p>また、安全対策を引き続き行い、書庫等の備品の転倒防止策の整備に関しては引き続き継続して対応する。</p>	<p>本校の教育環境の最大の特徴としては、姉妹大学が同一敷地内にあることが挙げられ、充実した教育環境にある。</p> <p>大学と連携した学生同士の交流イベントを開催していたが、新型コロナウイルス感染症予防による3密回避のため、今年度も実施を見送っている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	長澤 智広
--------	------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか <input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	<p>厚生労働省等の設置基準、関係法令に適合した施設設備を備えている。</p> <p>図書館は、大学図書館を活用している。年1度専門学校として希望図書の購入の機会が与えられている。</p> <p>実習室については、学科ごとに環境整備を行い学習支援に結びつけている。</p> <p>バリアフリーについては、建物内部では図られている。</p> <p>障害者専用トイレは1階に1か所設置している。</p> <p>コロナウイルス感染対策として1階出入口、各フロアの廊下、各実習室入口に手指消毒スタンドを設置している。</p> <p>今年度は新たに各出入り口と2か所の教員室入り口にサーモカメラを配置し、教室内の換気を図るためCO2センサーを導入し感染予防に取り組んでいる</p> <p>学校の施設設備は、管理部キャンパス整備課が点検・補修等を行っており、改築・改修・更新は、年次計画を立て取り組んでいる。</p>	<p>保守点検等適切に行われているが、一部空調関係の不具合について補修工事は完了しているが、残りの部分に関して具体的な計画が必要となる。</p> <p>2階以上の教室の机・椅子の入れ替えや教室内の補修等継続して計画的に行う必要がある。</p> <p>建物や施設におけるバリアフリー化は図られているが、ユニバーサルトイレの増設を含めまだ改善すべき余地がある。</p> <p>現状では学生休憩スペースが不足しており、引き続き設置を今後検討していく必要がある。</p> <p>2号館地下食堂についても、照明や室温の問題があるので、具体的な改善計画を継続して検討する必要がある。</p>	<p>学校の施設設備の改築・改修・更新は、年次計画を立て取り組んでいるが、新たに見つかる不具合が増加していることから、優先順位に沿った計画に見直すなど、きめ細かい検討を継続して行う。</p>	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>大学と併用できる施設設備を多く持ち、充実した学習環境であるが、一方で、専門学校が入る2号館と旧6号館には経年による補修を必要とする個所がある。改修に関する年次計画を立て、順次見直しながら対応している。</p>	<p>学生の教育環境の整備に力を入れ、具体的な什器の拡充を行った。 また、コロナ感染防止対策として、各教室に加湿器及び空気循環のための扇風機を、入構時の検温対策としてサーモカメラを設置するとともに、教室の換気対策としてCO2センサーを導入するなど重点的な整備を行っている。 引き続き、計画的に保守、点検、整備を行っていく。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	長澤 智広
--------	------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	4	<p>医療技術系、教育・福祉系の実習については、国家資格として実施時間、巡回、評価等が法律により定められており、それらを遵守している。</p> <p>医療ビジネス系や建築系については、関連団体と連携・協議し実習時間や評価基準等を定め、実習を行っているが、昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染状況を鑑み、学外実習を学内に切り替え実施している。</p> <p>「職業実践専門課程」の認定を受け、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会等を通じ、関連業界と連携したカリキュラムの編成と実施に取り組んでいる。</p> <p>学生の自発的な課外活動として、自治会の編成、サークル活動の支援を行っているが、コロナ禍において活動が制限されている。</p> <p>学校の行事については、ホームページを通じて案内を行っている。</p>	<p>学外実習の実施は、各関連業界の協力を得て大きく前進してきたが、教育効果の可視化については、科によってばらつきがあり、共通の尺度を設けるなど今後検討する。</p> <p>実習の受け入れ先確保については、各業界とのパイプを強め、積極的な関わりを持ってきたが、実習生のマナー等実習評価以前の問題も散見される等、受け入れ企業の理解と協力が不可欠となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学外実習を学内実習に切り替えざるを得ず、また、学校行事が制限されるなど、学生の積極的参加が困難である。</p>	<p>コロナ禍による学内実習においても、学生の実習到達目標を達成させるために関連業界とのさらなる連携強化を図り、学内実習の精度向上に努める。また、学校行事についても Web を活用したイベント等を開催する。</p>	<p>学生便覧 教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会議事録</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学外実習については全科が実施している。平成 28 年度より「職業実践専門課程」の認定を全科が受け、教育課程編成委員、学校関係者評価委員等を通じて関係業界の事業所、企業等と連携を深めている。</p> <p>学校行事の運営には、学生主体により組織された自治会が積極的に加わっている。学園祭や様々なイベントは学生の自発的な活動が支えとなっている。</p>	<p>自治会活動については、新型コロナウイルス感染拡大による予防対策のため、学園祭の開催を今年度も見送った。昨年同様代替イベントとして在校生主体の「写真コンテスト」を開催し、風景や人物等趣向を凝らした作品が多く寄せられ、概ね好評であった。</p> <p>優秀な作品については表彰するとともに、全作品を専門学校正面玄関に展示し、Web にて公開している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	長澤 智広
--------	------------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input type="checkbox"/> 消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	4	<p>防火・防災管理委員会が「防火・防災危機管理マニュアル（国見キャンパス）」を制定し、「防火防災教育」を実施、震災対応マニュアルを全学生及び教職員に配付し、ホームページに公開している。</p> <p>消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い改善に努めている。</p> <p>避難・防災訓練を毎年実施していたが、2021年度も、新型コロナウイルス感染症予防による3密回避のため、実施を見送った。</p> <p>施設・建物・設備の耐震化に対応している。</p>	<p>書庫等の整理を行い、安全対策を実施しているが、備品等の転倒防止策については、更に整備が必要である。</p>	<p>備品の転倒防止に関しては随時実施しているが、今後も継続して対応する。</p>	<p>防火・防災管理規程 施設管理規程 車輛安全運行管理規程 安全衛生管理規程 防火・防災危機管理マニュアル 震災対応マニュアル</p>
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	4	<p>キャンパス内に警備員を常駐させ、24時間体制で安全管理を実施し、キャンパス内入口に防犯カメラ4基を不審者侵入の抑止力として整備した。</p> <p>学生に緊急事案が発生した場合は、教員と保健室が連携し初期対応を行うが、救急搬送等を伴う場合は、法人に速やかな報告を行うなど保健室の対応マニュアルを基に適切に運用している。</p>	特になし	特になし	<p>防火・防災管理規程 施設管理規程 車輛安全運行管理規程 安全衛生管理規程 防火・防災危機管理マニュアル 震災対応マニュアル</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか		<p>本校における薬品等を扱う科が無くなったため、すべて整理した。</p> <p>また、実習巡回時は、車両安全運行管理規程に基づき、運行している。</p>	特になし	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
東日本大震災の教訓から、安全管理体制の再確認を行った。諸規程に基づき適切に運用されているが、更に改善を図る。	<p>大地震が発生した場合に備え、「震災対応マニュアル」を全学生、全教職員に配布している。</p> <p>特に学生の安否確認方法として、メール及び電話での連絡方法を定め、ガイダンス等で学生に周知するとともに、ホームページからもメールでの連絡を可能としている。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、医療技術、医療秘書、福祉、建築分野で即戦力となる人材を育成するために、東北6県から主に高校の新規学卒者を多く募集している。</p> <p>募集活動については、学生募集と広報活動を行う専門の「アドミッションセンター」を設け、各県の担当者が中心となって行っている。</p> <p>また、教員で組織された「企画広報委員会」が、専門学校独自の「体験入学会」と姉妹大学と共同開催する「オープンキャンパス」の運営を担っている。</p> <p>企画広報委員会は更に、ガイダンスへの教員の派遣、模擬授業の受け付けと実施、高校訪問等の調整を行っている。</p> <p>募集活動については、本校の教育成果を正確に伝え、入学希望者本人が納得して自ら進学したくなるような魅力ある情報発信に取組み、各科からトピックなどをホームページの記事として提供している。</p> <p>宮城県専修学校各種学校連合会の一員として、夏休み期間中に「未来のしごと体験プログラム」を実施し、高校生の受入れを行っている。更に通常授業の期間内でも、高校のバス見学等を受け入れ、専門分野の職業紹介や模擬授業の提供等を行っている。</p> <p>また、今年度は特に SNS による情報発信に力を入れ、学校の情報を積極的かつ定期的に伝え、学生募集の一助となるよう工夫している。</p> <p>入学後の学習への備えとして、本校独自の「入学前教育」を全科計 5 回行っている。</p>	<p>専門学校への進学を希望する高校生の多くは経済的困難を抱えており、経済的理由から入学を辞退する事例も増えている。</p> <p>2020 年度から導入された「高等教育の修学支援制度」を利用して入学した学生も多く在籍している。</p> <p>この制度を機に入試制度、支援制度の見直しを行い、すべての入試に面接選考を導入し、学科試験を含め合否判定の可視化を図っている。</p> <p>また、科毎に異なっていた入学金を統一し、更に「輝けるもの未来賞」「輝けるもの奨励賞」を創設し、新入生、在校生の学ぶ意欲を高める方策を講じている。</p> <p>入学前教育では、各科専門分野の他、新たに全科共通のコミュニケーション能力向上に向けた課題を加え、入学後の学生が速やかに学習環境に馴染めるよう、支援・指導しており、継続と充実を図っていく。</p> <p>学校・各科をより身近に感じ、理解してもらうため各科のトピックスや学校紹介動画、授業の様子などの制作に力を入れ更新を図りながらホームページ上に公開している。</p> <p>また、YouTube、Twitter、Instagram、Facebook を連動して情報を発信しているが更なる工夫が必要である。</p>	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オープンキャンパス・体験入学会への受入が制限され、オンライン対応や完全予約制での対面相談などを行っている。</p> <p>高校生との接触機会が大きく減少したため、学事日程上各月に予定されている体験入学会に加え、臨時追加の体験入学会を開催している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	長澤 智広
--------	------------	-------	-------

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	4	<p>高校ガイダンス、進学者による会場ガイダンスや、模擬授業等教員が参加している。</p> <p>毎年、高校教員対象説明会を開催し、在学生の報告や資格試験の実施状況・合格率、カリキュラム内容などを伝えている。</p> <p>オープンキャンパス等保護者会において保護者向け資料を独自に配布している。</p>	<p>コロナ感染拡大の影響により高校・会場ガイダンスが軒並み中止され、また学校理解のための高校教員研修会も Web 開催となる等情報提供が十分とは言えない。</p> <p>併せてオープンキャンパスや体験入学会も中止または Web 開催が余儀なくされ保護者に対するアプローチも不足している。</p>	<p>高校教員や高校生との接触機会が大きく減少しており、授業の様子や実習室の動画を積極的に公開している。</p> <p>また、「保護者のための学校見学会」の開催について、コロナウイルス感染状況を鑑み時期等を含め前向きに検討する。</p>	<p>高校教員説明会資料 学校案内パンフレット</p>
7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4	<p>願書の受付については、宮城県専修学校各種学校連合会の定めるところによって厳正に行っている。</p> <p>入学相談については、年6回の姉妹大学同時開催オープンキャンパスと月1回の体験入学会を行っているが、コロナ感染拡大の影響から高校生との接触が大きく減少しており、テーマ性を持たせた体験入学会を毎月臨時で開催するほか、フリー見学の強化、オンライン相談会などを行っている。</p> <p>これらの活動で得られた個人情報については、取得情報の管理・保管について厳正</p>	<p>効果的な学生募集のため、ホームページやその他のコンテンツへも積極的に情報を載せていくと共に、基本情報とトピックなどニュース性のある内容を区別して展開していく必要がある。</p> <p>アドミッションセンターと連携して、学生募集に関する情報提供を行っているが、高校教員や保護者の潜在的なニーズに答えているか十分に確認できていない。</p>	<p>学校案内パンフレットを基本情報とし、トピックなどの最新ニュースをホームページ、メールマガジン、SNSなどへの展開を図る。</p> <p>高校教員や保護者、高校生の潜在的なニーズの把握、それに即応した記事の作成、発信方法の選択、発信等を受け持つ専用部署の編成等をアドミッションセンターと共に検討する。</p>	<p>学生募集要項 学校案内パンフレット オープンキャンパスプログラム 体験入学会チラシ 未来のしごと体験プログラム</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか		<p>に行っており、共有、活用についてチェック体制を整備している。</p> <p>各科の魅力を分かりやすく説明するために、模擬授業や、それぞれの科が使用する実習室の動画を作成しホームページ上に公開している。</p> <p>全ての入試に面接評価を導入し、調査書・筆記試験と合わせ合否判定の可視化を図っている。</p>	<p>大学共催の説明会を「オープンキャンパス」、専門学校単独の説明会を「体験入学会」としているが、より分かり易い実施方法を検討する。</p> <p>学校パンフレットを希望する資料請求者について一人でも多くの入学に結びつくよう魅力ある記載内容が重要である。</p> <p>2021年度入試からすべてに面接選考を導入し評価の可視化を行ったが、導入1年目として評価方法等の検証が必要である。</p>	<p><u>入試方法(※5)</u>について、エントリーを3区分に分けたAO入試や、期の後半にエール入試を設けるなど選考方法を変更したが、高校生の認知度が低いため、アドミッションセンター中心に、より一層の周知を行う。</p>	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>学生募集活動については、インターネットを通じた情報提供が主流になり、発信に関する戦略的な組織作りが不可欠になっている。</p> <p>一方で、ガイダンスや学校見学会、高校訪問など対面して行う学生募集活動は非常に重要であり、アドミッションセンターを主体とする専門学校の募集活動を積極的に行っている。</p>	<p>本校の教育の特長を高校生に伝える方法の一つとして、平成23年度より「TBG高校生デザインコンテスト」を実施している。回を重ねるごとに本県のほか隣県の高校生の出品が多くなるなど一定の評価を得てきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度の開催をやむなく中止している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	長澤 智広
--------	------------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	4	<p>入学選考については、規程に基づき学校長を長とする「入学試験入学者選考委員会」が組織され、委員全員で審議した上で決定している。</p> <p>選考基準を明確化するため、すべての入試に面接選考を導入、筆記試験とともに点数化し選考の可視化を図っている。</p>	<p>高校調査書、面接、筆記試験すべてにチェック項目を設け点数化しているが、項目及び点数配分について検討の余地がある。</p>	<p>入学選考基準の可視化を図る点数配分について検証を行う。</p>	学生募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4	<p>入学選考に関するデータは学校事務局が適切に保管管理している。</p> <p>個々の学生の傾向を把握する目的で、入学後全科でベーシックテストを実施しており、分析されたデータはアドミッションセンター、企画広報委員会の広報活動の際の指針の一つとなっている。</p> <p>しかし今年度についても新型コロナウイルス感染拡大に伴う学生の入構制限、3密の回避等の理由によりベーシックテストの実施を見送っている。</p> <p>次年度入学予測数については、実績に基づく数値、財務的に適切な数値が算出され、目標値が決められている。</p>	<p>募集の結果、一部の領域では予測数に満たない(※6)こともあり、オープンキャンパス等高校生に対する訴求力を高める必要がある。</p> <p>コロナ禍において、今年度も新入生に対するベーシックテストを実施しなかったが、学生理解上重要との観点から、実施に向けた対応を検討する必要がある。</p>	<p>特別な配慮を要する学生に対し、入学前から保護者との連携を取り、高校の支援も受けながら適切に対応していく。</p> <p>ベーシックテストについては、コロナ禍でも行える工夫を講じながら次年度以降実施する。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>入学選考については、宮城県専修学校各種学校連合会の取り決めに従い適切に行っている。</p> <p>特に AO 出願については、担任の許可を得て出願する制度を独自に取っている。しかし、財務経理的には目標とする入学者数確保になっていない。</p>	<p>2021 年度の日本学生支援機構奨学生は、昨年同様、全在籍者の半数を超えている。(※7)。</p> <p>経済的に厳しい家計状況の学生に対し、積極的に高等教育の修学支援制度利用を推進している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	長澤 智広
--------	------------	-------	-------

※5：2021 年度 入学選考方法別出願者数

選考方法	指定校・推薦	AO・専願・一般・エール
入学者数	58	91 (エール入試は内 4 名)

※6：2021 年度 入学者数（復学・転科者含まず）

科 名	入学者数
視能訓練士科	41
介護福祉科	7
社会福祉科	11
医療秘書科	4
医療情報管理科	15
建築土木科	18
インテリア科	21
診療情報管理士専攻科	12
建築士専攻科	20

※7 奨学金利用件数

日本学生支援機構奨学金貸与者 2021 年度 50.3% 2020 年度 51.1%

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	<p>学納金の変更については、理事会・評議員会が決定する。</p> <p>学納金や入学検定料の徴収について検討を行い、2020年度から入学検定料及び2021年度入学生から学納金を改定した。</p> <p>学納金のほか教科書、教材費及び学生保険等の諸経費については、毎年、検証を行った上で算出し、学生募集要項に記載している。</p>	入学検定料及び学納金を改定したが、さらなる経費の内容について検討を必要とする。	適正な学納金の設定に心掛けているが、経費内容の検討・協議を毎年実施する。	学生募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いについては、文部科学省通知の趣旨に基づき、学生募集要項に明示し、適切に取扱っている。	特になし	特になし	学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学辞退者に対する授業料の返還については、学生募集要項に明示し、適切に対応している。	<p>科によって入学検定料が異なっていたため、2021年度入学試験から入学検定料を均一となるよう変更した。</p> <p>高等教育の修学支援新制度の対象機関と認められ、授業料等を軽減することができ、経済的な支援策となった。</p> <p>入学支援制度の改正及び特別奨学金制度を制定し、2021年度入学試験から入学検定料及び学納金負担軽減策を講じた。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>2021年度は、中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」の最終年度であり、その検証に取り組んだ。その中の大項目のひとつが「財務基盤の強化」である。</p> <p>財務基盤の強化のために、予算管理の厳正な実施と無駄な経費支出の削減の強化、支出管理の徹底を目指した。そのため、専門学校の将来構想を再検討し、設備投資を一部見送りとしたものもある。</p> <p>今後は、新たな中期計画「輝ける者を育むⅢ」を実施する上で、引き続き法令遵守の精神に則り、会計処理の適正な実施を行い、会計監査の厳正な実施が継続できるよう体制の堅持に努めていく。</p> <p>本校の収支状況はおもわしくないが、法人全体としては収支均等が実現出来ている。</p> <p>安定した法人経営には、今後は専門学校単独での収支均衡に向けた改善が必要である。</p>	<p>2019年度からの中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」の年度ごとの達成状況を検証し、次年度以降の新たな中期計画「輝ける者を育むⅢ」に取り組んでいく。</p> <p>なお、安定した財務基盤の確立には、安定した学生確保が今後も必要不可欠である。</p>	<p>本法人は、専門学校、大学及び幼稚園2園を有する学校法人である。</p> <p>専門学校と大学では教育分野が重複しているため、法人全体としての学生募集戦略が必要である。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか <input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか <input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか <input type="checkbox"/> 事業活動収支計算書の経常収支差額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか <input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか <input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で適切な数値となっているか	3	<p>過年度からの応募者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握している。</p> <p>学校としては支出超過が続いているが、法人全体として収入に応じた予算執行を行うことで、収支バランスを確保しており、財務基盤の安定に努めている。</p> <p>学校単体での収支均衡を目指すため、2019年度からの中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」において、明確な入学生確保目標数を掲げており、入試制度、支援制度の見直しを行うなど具体的に取り組みを進めている。</p>	中長期的な財政基盤の安定には、入学生の安定確保が最大の課題である。	入学者の確保に向けて、学生募集方法等を改善する。	
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況（事業活動収支・資金収支）による財務分析を行っているか <input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4	毎年度決算終了後に財務分析を行っている。	財務数値に関する分析結果の改善には、安定した入学生確保が必要である。	法人全体としての学生数増加に向けた具体的な方策のもとに学生確保を行う。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか <input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか <input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数值は適切な数值になっているか <input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか <input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか		負債比率は全国平均と比較し良好な値となっており、償還計画も策定し履行できている。 毎年度決算終了後にキャッシュフロー計算書を作成している。 学生生徒等納付金の減少により、人件費比率が高くなっている。 経費では電気代及びキャンパスの土地賃借料などの固定経費の削減を行い収支状況の改善に努めている。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
収容定員充足率が十分でないものの収入に応じた予算執行を行うことで、法人全体としての収支バランスが確保されている。	特になし

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	2021年度予算は2019年度からの中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」に基づき予算編成を行っている。 予算は評議員会で意見を聞いたうえで、理事会の議を経て決定している。	特になし	特になし	
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	4	予算超過が見込まれる場合、予備費の使用や補正予算を組むなど対応している。 会計処理は、学校法人会計基準、経理規程及び予算管理規程に基づき適正に処理している。	特になし	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成27年度からは中期目標・中期計画「輝けるものを育む」に基づき、資金収支計画を作成し予算ヒアリングを行い事業計画・予算作成をしている。現在は、第2期の中期目標・中期計画「輝ける者を育むⅡ」の計画を検証している。	学生募集状況により資金収支計画を随時見直していくことで、中長期的に資金状況を管理、予測している。

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	<input type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか <input type="checkbox"/> 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4	<p>寄附行為第 16 条及び監事監査規程の規定に基づき、監査されている。</p> <p>また、「私立学校法」第 37 条第 3 項の規定に基づく監事による監査及び「私立学校振興助成法」第 14 条第 3 項の規定に基づく監査法人による会計監査が実施されている。</p> <p>監事は、監査実施後、理事長との面談及び理事会への報告を行い、改善意見があった場合、その改善に努めている。</p> <p>更に監査法人、監事及び内部監査室による三様監査連絡会を年 3 回の予定で実施している。</p>	特になし	特になし	寄附行為監事監査規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各法令に基づき適切な監査が実施されている。	監査人である公認会計士、監事及び内部監査室による三様監査打合せを年 3 回実施し、それぞれの視点からの留意点及び気づき事項についての情報共有と意見交換を行っている。

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか <input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか <input type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4	<p>「情報公開に関する規程」により、財務情報の公開について定められている。</p> <p>公開が義務付けられている書類について、本校のホームページに掲載している。</p>	さらなる情報公開に取り組んでいく必要がある。	情報公開については、その都度十分検討し、対処していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校のホームページ上で情報公開を行っている。今後はより積極的な情報公開を検討していく	財務情報の公開では、計算書類のほか表やグラフを用いて、見やすさの工夫と学校会計と企業会計の違いを掲載するなど、わかりやすい情報公開に取り組んでいる。

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令や設置基準の遵守については法人として適切に実施され、関係省庁への報告においても適切に実施されている。</p> <p>公益通報者保護規程を定め、全学的にコンプライアンスに対する方針を明確化している。</p> <p>個人情報保護について、学内で「個人情報保護規程」が定められており、学外への個人情報の流出を予防している。</p> <p>また、学生に対しては入学時のオリエンテーションで「個人情報保護規程」を説明し、在校生にはホームルームで SNS 利用についても指導を行っており、十分な周知活動を行っている。</p> <p>平成 25 年度以降、毎年自己点検・自己評価を実施し、結果をホームページ等で公開している。なお、問題点は各委員会で検討し、改善を図っている。</p>	<p>在校生に対しては、ガイダンスを実施し個人情報保護の教育を行っている。</p> <p>また、学外実習にあたって、実習受入れ先と個人情報の取扱いについての申合せを行うなど、事前に学生に指導を行っているが、引き続き注意をはらい取り扱う。</p> <p>外部講師を招いた講座は毎年行っているが、今年度も昨年度同様、仙台弁護士会による「働く者の権利」に関する講座を学生委員会主催で開催し、啓蒙を図っている。これらの活動を継続し、更に内容の充実を図る。</p>	<p>自己点検・自己評価報告書に加え、学校関係者評価報告書もホームページ等で公開している。</p> <p>規程を改正し、自己点検・自己評価を毎年実施している。</p> <p>2017 年度より自己点検・自己評価報告書を文部科学省ガイドライン準拠版の様式に変更した。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか <input type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか <input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	4	<p>本学運営において、法令及び設置基準に基づき、適切に行っており、規則・規程等も整備している。</p> <p>「ハラスメントの防止等に関する規程」及び「人権侵害及びハラスメント防止のためのガイドライン」を定め適切に運用している。</p> <p>教職員に対する公益通報の窓口を定め、学校ホームページの「公益通報・相談窓口」において周知を行っている。</p>	<p>教職員、学生に対し「人権侵害及びハラスメント防止のためのガイドライン」を定め周知を図っている。</p> <p>また、学生には学生相談室と保健室の連携によりハラスメント等相談対応を行っているが、今後、より一層認知度を高める必要がある。</p>	<p>ハラスメント防止について認知度を高めるために、ホームルーム等で相談窓口があることを周知するほか、目につきやすい場所に積極的にポスター等を掲示する。</p>	<p>ハラスメントの防止等に関する規程 公益通報者保護規程</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営に必要な規則・規程等は整備され、関係法令及び設置基準等に基づいた学校運営を行っている。</p>	<p>規程等により、本法人の業務全般について、法令及び本法人が定める諸規程並びに社会規範等に則り、適正に遂行されているかを公正かつ客観的な立場で検証している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか <input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4	<p>本校を運営する法人において定める「個人情報保護規程」の他、本校で「個人情報保護規程細則」を定め適切に運用している。</p> <p>また、「個人情報保護規程」及び「個人番号及び特定個人情報取扱規程」により、情報漏えい等の防止策が講じられている。</p> <p>教職員は個人情報に関する取扱の教育等を実施している。</p> <p>学生については、ガイダンスを実施し、個人情報保護の教育を行った。</p>	情報機器及びその環境が多様化しており、学生・教職員に対する個人情報管理に関する啓発及び教育を更に徹底する。	学生については、ホームルーム等を活用した最新の情報提供と教育を徹底し、その意識を高める。	個人情報保護規程 個人番号及び特定個人情報取扱規程 ホームページ管理運用規程 就業規則 有期教職員就業規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の管理体制は、構築されている。	マイナンバーに係る情報の管理は、非常勤講師も含め法人事務局が担当しており、適正に運用している。

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4	自己点検及び自己評価規程に基づき、毎年実施し、問題点は各委員会で検討し、改善を図っている。 今年度は、コロナ禍の状況であったが、早期に委員会を開催し、学校改善に取り組んでいる。	特になし	特になし	自己点検及び自己評価規程
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	自己点検・自己評価を実施した結果を報告書として取り纏め、更にホームページ等で公開している。	特になし	特になし	自己点検・自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施のための組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4	学校関係者評価委員会規程を設け適切に運営している。 学校関係者評価委員会は、自己点検及び自己評価を取りまとめた後に毎年開催しており、学校関係者委員会からの指摘事項に対し、緊急性や予算面から順位付けを行い、速やかに学校改善に取り組んでいる。	学校関係者委員会から寄せられる意見は、学校改善に必須なものであり、緊急性の高い内容については、必要に応じて審議・検討する時間を確保する必要がある。	委員会の開催を増やす方法について検討する。	
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	学校関係者評価も報告書に取り纏め、ホームページ等で公開している。	特になし	特になし	学校関係者評価報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 25 年度以降毎年、自己点検・自己評価を実施し、その結果はホームページ等で公開し、問題点は各委員会で検討し改善を図っている。 併せて、学校関係者評価も報告書に取り纏め、ホームページ等で公開している。</p>	<p>第三者評価受審についての検討を行う。また、次年度に向けて評価項目の妥当性について検討を進める。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報をホームページ及び学校案内等で公開している。	ホームページの内容の充実及び操作性について検討を加える。	ホームページは学内の情報を広く正しく伝えるため、タイムリーに発表していく。	学校案内 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ホームページ及び学校案内の充実を図り、積極的な教育情報の公開に努める。	特になし

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>一般市民を対象とした「東北文化学園フォーラム」を毎年開催し、医療や福祉のテーマを基に、有識者の講演やパネルディスカッションなど好評を得ている。</p> <p>また、学園は地域の一員として活動しており、日々の感謝を込めて、毎年1回6月に、学生、教職員全体で「感謝の日」として近隣の公園や福祉施設等の清掃や除草等を行っている。</p> <p>近年では地域住民の方々の参加も多くみられていたが、今年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を中止した。</p> <p>2年連続で中止となったことを契機にこれまでの活動を省みて今後の在り方について継続して検討しており、今後は学生の意見なども取り入れていくとともに、各町内会との共催による新規事業の構築については、意見交換会などで検討していきたい。</p> <p>学校施設は、教育に支障のない範囲で、「学外者施設使用規程」に基づき外部団体に提供している。</p> <p>外部からも利用可能な蔵書検索システムを備えた図書館は、卒業生も利用可能で、図書の館外貸出しも行っている。</p> <p>若年者の職業意識の啓発、就労観の育成を図ることを目的とする「専修学校各種学校・高等学校連携等職業教育推進事業：未来のしごと体験プログラム」に、毎年、講座を提供している。</p>	<p>本校の教育資源について、積極的に情報を提供し、新たな取組を検討する。</p> <p>定期的な市民を対象とした福祉関連の講座開講を検討する。</p> <p>近隣町内会の方々による学校施設等の積極的活用を増加させる方策について、町内会との協議を継続することとしていたが、今年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から協議を行うことができなかったため、次年度に向け、改めて協議の場での提言を行いたい。</p>	<p>毎年、教職員と学生が地域の公園、道路及び福祉施設などの清掃ボランティアを行っていたが、今年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>近隣町内会と清掃活動の協働実施や、図書館等の学校施設を開放するなど、連携した協力体制を整え、良好な関係を構築している。</p>

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input type="checkbox"/> 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか	4	<p>東北文化学園大学・東北文化学園大学院と連携して、毎年、一般市民を対象とした「東北文化学園フォーラム（無料）」を開催している。</p> <p>教育に支障のない範囲で、各団体の教育・研修活動、各種試験会場等に施設を提供し、また、教員の講師派遣等を行っている。</p> <p>本校との高・専接続連携を行っている高校においては、毎年定期的に職業理解、キャリア教育の授業を行っているほか、県内の高校からの要請に応じて出前授業を実施している。</p> <p>卒業生や近隣町内会の方々も図書館の館外貸出しを含め、図書館の利用が可能である。</p>	<p>今後も地域貢献事業を継続し、更に地域のさまざまな要望に応える貢献策を計画的に検討する。</p>	<p>定期的な市民を対象とした福祉関連の講座開講を検討する。</p> <p>近隣町内会の方々による学校施設等の積極的活用を増加させる方策について、町内会との協議を継続することとしていたが、今年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から意見交換会などの開催を見送っており、次年度に改めて協議の場を設けたい。</p>	東北文化学園フォーラムパンフレット

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいる か	<input type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか	2	国際交流や留学生の受け入れについては、他の専門学校 の取組について情報収集を行 っている。	留学生受け入れに係る 支援体制が未整備である。	留学生の受け入れに ついて、他校の組み みを参考にするとともに、 宮城県専修学校各種学 校連合会と協議し、体制 整備の必要性を検討す る。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献、地域貢献には積極的に取り組んでいる。 国際交流、留学生の受け入れについては、体制整備の検討が必要である。	特になし

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	<p>毎年、教職員と学生が地域の公園、道路及び福祉施設などの清掃ボランティアを行う「感謝の日」を定め、地域の清掃ボランティアを行っていたが、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を中止した。</p> <p>2年連続で中止となったことを契機に、今後は学生の意見なども取り入れ、また、各町内会との共催による新規事業の構築については、意見交換会等通して検討する。</p> <p>また、仙台市宮城野区保健福祉センター等の行政機関や医療福祉施設が主催するボランティアに各科積極的に参加している。</p> <p>地域連携センターでは学生が行う地域貢献、ボランティア活動を推奨する「ボランティア・ポイント制度」を実施し、活動実績を記録している。</p>	<p>福祉分野の学生数の減少により、特に福祉施設からのボランティア依頼に応えられない場合が多い。</p> <p>また、ボランティアの趣旨から外れる内容の報告を学生から受けることもある。</p> <p>学生のボランティア活動は、学業に支障のない範囲で奨励し、更に参加促進に向けた支援について検討を行う必要がある。</p>	<p>学生が更に幅広いボランティア活動を行えるよう、仙台市社会福祉協議会仙台市ボランティアセンター等との連携を図りながら支援体制を整備していく。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
更に「ボランティア・ポイント制度」登録学生の増加に向けた体制の整備が必要である。	「ボランティア・ポイント制度」により、地域社会への貢献度が高い活動を行った学生を表彰の対象としている。

最終更新日付	2022年4月21日	記載責任者	馬場 健二
--------	------------	-------	-------